

# SEI KEI

SEIKI UNIVERSITY  
SEIKI SENIOR HIGH SCHOOL  
SEIKI JUNIOR HIGH SCHOOL  
SEIKI ELEMENTARY SCHOOL

成蹊学園 事業報告書  
2013年度(データ集)



## 2013年度 成蹊学園事業報告書

---

### 目 次

1. 社会的責任に関する取り組み	1
2. 教職員	13
3. 在学生	14
4. 2014年度入学試験状況	17
5. 学生数・入学者数・入学志願者数・教職員数の推移	19
6. 留学	20
7. 卒業生の状況	23
8. 産業別就職状況	26
9. 納付金	33
10. 補助金・助成金	35
11. 奨学	38
12. 図書等資料	40
13. 学園施設	43
14. 財務の内容	45
15. 監査報告書	55

# 1. 社会的責任に関する取り組み

---

成蹊学園では、教育・研究活動を行っていく上で果たすべき社会的責任に関する取り組みとして、2013年度は次のような活動を行いました。

## ■ 1. 情報公開

### (1) ホームページでの情報公開

本学では、以前より、予算・決算等の詳細な財務情報、事業報告書、事業計画についてホームページ上で公開してきました。

また、本学は、2000年に財団法人大学基準協会より大学基準適合の認定を受けていますが、この評価や格付等の第三者評価結果、および自己点検・評価報告書等についても以前よりホームページ上で公表するなど、学校運営における透明性の確保に努めています。

2011年には、教育情報公表の義務化を受け、各情報をわかりやすく整理した専用のページと、そのページへリンクするバナーを大学トップページに設置しました。以後、最新データへの更新並びに経年データの蓄積を毎年行い、公開し続けています。

### (2) 格付の更新

本学では、2003年度に株式会社格付投資情報センター（R&I）よりAA-の格付けを取得し、2013年度も引き続きAA-の格付けを更新しました。本学の格付けである「AA-」は、21段階中上位から4番目に位置する高い評価であり、三菱商事、三菱電機、法政大学、國學院大学等と同格になります。

私立学校を取り巻く経営環境が非常に厳しくなり、学生、保護者、受験生、卒業生、関係諸官庁等のいわゆるステークホルダーによる学校財務への関心が年々高まっていますが、財務の健全性、透明性を積極的に開示し、安心して勉学に励んでもらえる学校であることを示すことにより、ステークホルダーからの信頼を得ていくことも学校法人の重要な責務の一つと考えています。

## ■ 2. ガバナンス・危機管理

### (1) 内部監査室の活動

内部監査室は、業務の適正な執行を図り、本学の健全な発展に資することを目的として、監査活動を通じて、責任ある学校経営に寄与することに努めています。

2013年度は、毎年度実施している科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金・科学研究費補助金）の執行管理状況監査のほか、科学研究費助成事業に関する事務の執行状況、教職員の雇用契約の状況、小学・中学・高等学校における学籍関係諸規則の整備及び手続きの状況、並びに大学における授業運営状況に関する検証・評価、さらには過年度監査実施案件に対するフォローアップを行い、理事長に報告の上、理事長が改善を要すると認める場合において、適宜、改善の指示を行いました。

また、内部統制の整備・充実のための一方策として、2014年度から定常的な内部監査を実施できるよう、その準備を進め、その礎を固めました。

### (2) 法令遵守

情報センターでは、コンピュータソフトウェアの著作権に関する法令遵守の徹底を図るため、本学が保有する3000台を超えるパソコン全てを対象にマイクロソフト社等とライセンス契約を結び不正使用防止に努めています。

### (3) 防災訓練、消防避難訓練等の実施

【大学】 防災訓練を毎年数回実施しています。2013年度は9月18日に大学第1区域にて、授業時に地震が発生した場合に教員が行う学生への指示訓練並びに防災隊、対策本部の初動を確認するための訓練および消火器を使った消火訓練（参加者は教職員約300名）を、10月23日に大学第2区域（理工学部区域）にて消火訓練、煙体験ハウス、起震車の体験等も含めた、初期消火・避難訓練（参加者は教職員学生合わせて約370名）、11月14日には情報図書館にて、大規模震災を想定した防災訓練（参加者は教職員学生合わせて約140名）を行いました。

また、国際交流会館では、9月10日（参加者12名）と3月26日（参加者17名）の2回、入居者のための総合防災訓練を行いました。2014年3月26日には、人形を使用しケガ人を救助する訓練も合わせて行いました。

【中学・高等学校】 毎年春と秋に防災訓練を実施しています。2013年度は4月9日、10月31日に実施しました。また自転車通学者の交通ルールの遵守と安全運転マナーの向上を目的として、4月9日には自転車安全講習会を開催しました。

【小学校】 避難訓練を毎年4回実施しています。2013年度は4月25日、9月4日、11月26日に実施しました。（2014年2月21日の訓練は27日に延期され、27日も雨天の為、中止となりました。）

9月4日の訓練は、大規模地震の発生により公共交通機関が遮断されたとの想定で、保護者の協力を得て児童引渡し訓練を実施しました。東日本大震災の際の児童引渡し経験を踏まえた訓練となりました。

### (4) 海外留学・旅行危機管理セミナーの開催

国際教育センターでは、7月20日と2014年2月4日に、株式会社エスティーエートラベルの協力を得て、在学生を対象とした海外留学・旅行危機管理セミナーを開催しました。当セミナーは、2006年度から実施し8年目となりますが、同社の豊富な経験・知識に基づいた、留学先等での危機管理や緊急時の対処法などについて、具体例やビデオ上映を交えて大変わかりやすくお話しいただきました。

### (5) 救急救命に関する講習会の開催

#### ●上級救命講習会

9月19日、2014年2月17日、3月25日、3月28日に上級救命講習会を行いました。学部学生77名および教職員5名が参加し、財団法人東京防災救急協会の指導の下、心肺蘇生法、止血法、自動体外式除細動器（AED）使用法などの救命手当の指導要領について学びました。

なおこの参加者には、2014年度より開始したフレッシュャーズ講座のSA（Student Assistant）を担当する学生42名が含まれています。

#### ●普通救命講習会

学生生活課と共催で学生部登録の学生団体およびサークル団体代表から参加を募り、2014年2月1日に普通救命講習会を開催し、20名の学生が参加しました。

#### ●BLS講習会

4月16日、4月23日、5月17日に健康支援センターが主催したBLS(Basic Life Support)講習会には体育会本部の学生6名、教職員7名が参加しました。

#### ●自動体外式除細動器

現在学園内は自動体外式除細動器が合計13台設置されています。内1台はけやきグラウンド北側に屋外設置されています。校外施設の箱根寮にも1台設置しています。

AED使用法を含む救急講習については、大学関係の教職員のほか学園内の小学校、中学校、高等学校の教職員も定期的に受講しています。

### ■ 3. 人権尊重

#### ハラスメント防止人権委員会の取り組み

成蹊学園ハラスメント防止人権委員会では、外部の専門カウンセラーおよび学内相談員による相談救済活動を行うほか、防止啓発活動として、リーフレットおよびガイドラインの配布、教職員を対象とする研修などを行っています。

教職員を対象とする研修は、それぞれの就労環境に応じた、適切な内容を提供することを目指し実施しています。4月には新任教職員に対し、「ハラスメント防止啓発活動について」「ハラスメントとコミュニケーション」と題した、ハラスメント防止啓発の導入となる研修を実施したほか、6月には人権委員会の後援により、「ハラスメントのリスクを下げるコミュニケーション」というテーマで、理工学部教員対象の研修を実施しました。また、2月には小学校教員を対象に、「ハラスメントが起きない環境をつくるために」というテーマで研修を実施しました。

### ■ 4. 環境関係

#### (1) 環境保全活動

本学は、2008年4月より環境マネジメントシステム（EMS）の運用を開始し、同年11月27日にEMSの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。2011年4月からは、新たな環境3カ年計画をスタートさせ、様々な環境保全活動に取り組んできました。

新たな環境3カ年の環境目的・目標のうち、エネルギー（電気・ガス・水道）使用量の削減目標は、「2011～2013年度実績の平均値を基準値（2008～2010年度実績平均値）より1%削減する」というものでしたが、これらはすべて達成することができました。

一方、学園の自然環境保全や環境教育・研究を推進する側面での活動も積極的に推進しています。

学園全体の環境活動としては、児童、生徒、学生を対象にクールビズ、ウォームビズポスターデザインの募集を行い、最優秀作品となったポスターを学内各所に掲示しました。2010年度から毎年実施しているソメイヨシノの植替えは、2013年度は対象樹木である3本を伐採し、同じDNAをもった苗木を本学の小学生が植樹しました。2013年9月にISO14001の認証更新のための外部審査を受け、これまでの学園全体での積極的な活動が評価され、認証更新することができました。

大学では、学生環境委員会が武蔵野市からの依頼により、武蔵野プレイスにおいて学生環境委員会の活動展示と地域の児童を対象にエコクッキングを実施しました。夏には、二次利用水を活用した打ち水の実施とともに、年間を通してゴーヤのグリーンカーテンやビオラを育てるなど、大学内の緑化を推進しています。理工学部では6月1日に「地球温暖化とエネルギー」というタイトルの講演会を行いました。また、大学情報図書館内に環境コーナーを設け、環境関連図書を閲覧しやすいようにしています。

中学・高等学校では、理科、社会科、家庭科などを中心に環境に関する授業を展開し、自然観察会や宿泊行事、気象観測などを通じて環境活動に取り組んでいます。特に、文化祭では、実行委員会を中心に、ゴミステーションの設置やゴミの削減の工夫など、環境に関する展示を行っています。

小学校では、学園内で作られたコンポスト堆肥、落ち葉焚きの草木灰を利用した土作りで畑の整備を行い、収穫した野菜類を自分たちで調理するなど、環境循環の学習活動を展開しています。施設面では、児童・教職員の委員会が中心となってエネルギー使用量の削減に努めています。

これからも、学園全体で省エネ、省資源、環境に配慮したキャンパスをつくり上げるとともに、積極的な環境教育・研究活動を推進していきます。

## (2) アスベスト対策

2005年8月に実施した調査の結果、学園内の建物には飛散性の高い「吹き付けアスベスト」が無いことを確認していますが、アスベストを含んだ建材の「折板裏打ち断熱材」が、小学校中央館玄関ロビー、中高第2体育館アリーナ、大学体育館アリーナにそれぞれの屋根の裏打ち材として使用されていることが判明したため、2005年度に小学校中央館玄関ロビー、2006年度に中高第2体育館アリーナの裏打ち材、2007年度には大学体育館アリーナ屋根の裏打ち材を張り替え、これらを全て撤去しました。また2008年度に学園本館改修工事を行った際には、床下および地下室蒸気配管周りの断熱材の成分から新たにアスベストが検出されたのでこれを全て撤去し、大学12号館地下の旧ボイラー室改修工事においても蒸気配管周りからアスベストを含む断熱材が検出されたのでこれも全て撤去しました。さらにその後も2008～2010年度に亘って実施した大学7号館トイレ改修工事の際に天井の建材にアスベストが含有されていることが判明し撤去、2011年度に小学校中央館1階トイレを改修した際には天井の建材にアスベストの含有が認められ全て撤去、2012年度には大学6号館解体工事の際にも古い蒸気配管周りや天井材・床材等にアスベスト含有建材があることを確認し全て撤去しました。

## (3) 馬糞たい肥の配布

馬術部の厩舎および馬場は民家に隣接しており、悪臭で近隣の皆様にご迷惑をおかけしていたため、2002年に悪臭対策として馬糞から良質のたい肥を作る処理装置を導入しました。以来毎年、生産したたい肥を近隣の農家や一般家庭に無料で配布しています。2013年度は147件の申し込みがあり、生産が間に合わないほど好評をいただきました。

## (4) 欅並木および桜の保全・整備

本学には、124本、約600mにおよぶ欅並木があり、四季折々に美しい景観を醸し出しています。これは、学園が1924(大正13)年に池袋より吉祥寺に移転した際、樹齢10年から20年ほどの若木を植樹したもので、現在ではその殆どが高さ25m前後、幹回り2m以上にまで成長しています。

欅並木は、1971(昭和46)年には「武蔵野市天然記念物」に、1982(昭和57)年には都民の投票による「新東京百景」に、そして1996(平成8)年には、「残したい“日本の音風景100選”」に選ばれるなど、近隣の方々のみならず都民の憩いの場として広く親しまれています。

この美しい環境を保つため、毎年2回にわたって定期的に枯れ枝の除去や危険枝の剪定を行い、地域の環境保全・整備に努めていますが、2010年度に全ての欅を対象として樹木医による健全性の診断を行い、その結果に基づき大規模な危険枝の剪定を行いました。さらに2011年度には専門家の指導を仰ぎながら武蔵野市と協議・検討を重ね、敷地内の欅8本と並木の欅1本を対象として樹高10mでの強剪定を行い経過観察することとしました。今後も景観の維持と安全性の確保という難しい課題に取り組んでいくこととしています。

桜については欅と同様、吉祥寺移転時に100本近いソメイヨシノを植えましたが、近年は樹齢が90年近くなり、倒木・大枝折損などの危険性が切迫した状況となってきたため、2008年度に実施した樹木医による全数診断に基づき、特に危険度の高い桜並木とこのはな小路の桜について応急措置を施しました。さらに2009年度には近隣住民および通行者に危険を及ぼす可能性が高いと判断された、このはな小路の危険木2本を伐採し、また敷地内の桜についても樹木医の指示により樹勢回復の措置を行いました。さらに2010年度以降も引き続き施肥とエアレーション作業により樹勢回復に努めていますが、2011年度からは桜並木沿いの危険木について伐採と新植を実施し、昨年度まで新たに8本の新しい桜の若木を植えました。

また成蹊会からのご寄付により、2012年度には本館前広場の東寄り桜並木内に、校章をモチーフにした舗道の中央に凝念をする子どもの像を配した学園創立100周年記念公園を造成しました。今後も中長期的な更新計画を立て、継続的な保全に努めていきます。

## (5) グラウンド整備

2009 年度に 400 m 競技場・ラグビー場の全天候化（人工芝敷設およびトラックのウレタン舗装など）整備工事を実施したことに引き続き、2010 年度にはサッカー場とハンドボール場の人工芝を張替えました。また、2012 年度は野球場の外野に運動場専用の天然芝を敷設し、排水施設の改良工事を行いました。これら一連の整備工事により、土埃による近隣被害の解消、雨水浸透による保水性の向上、地表温度上昇の抑制など、様々な環境負荷の低減がなされました。さらに 2013 年度は内野フェンス沿いの衝突時防護マットを全面更新するとともにブルペンを整備しました。また、馬場の砂も細粒化による飛散対策として表層部分の砂を全面的に入れ替える工事を実施しました。

## (6) 設備更新

2009 年度に大学 8 号館、2010 年度に大学 3 号館の各教室照明器具を全て高効率型機器（HF32 型蛍光管）に更新したことに引き続き、2011 年度には大学 9 号館各教室、2012 年度には大学 5 号館の照明器具を全て同様の高効率型機器に更新しました。さらに 2011 年度から 2012 年度にかけては照灯時間の長い樺並木に設置した街灯を始め、中高第一体育館、大学体育館の照明器具を高効率型機器（無電極放電管）に更新しました。また大学 10 号館の文系教員個人研究室合計 159 室について、2010 年度に空調機器の更新工事に合わせて、照明器具を照度センサー付の高効率型機器（HF32 型）に更新しました。大学 9 号館地下熱源設備の改修工事についても 2010 年度に実施した冷温水を循環させるポンプの更新と出力制御をインバーター化する改修工事に引き続き、2011 年度には旧式で効率の落ちたガス吸収式冷温水発生装置 2 基を廃止して、屋上に最新型の電気式空冷ヒートポンプチラーを設置する工事を行いました。2013 年度は南プールの加温装置（ボイラー）を最新型の高効率機器に更新し、CO<sub>2</sub> の発生量を低減させるとともに省エネルギー化を図っています。これらの改修はいずれも東京都が施行した環境確保条例への対応を念頭に置いたものであり、今後も継続的に設備更新を実施していく予定です。

## (7) パソコン・サーバの省電力化

2009 年より学内に設置された約 900 台のパソコンは省電力性能が高い機種になっています。また、サーバ機能を仮想化することにより、省電力化されています。

## ■ 5. 地域貢献

### (1) 公開講座の開催

本学では公開講座を、毎年春季と秋季の土曜日にそれぞれ4回ずつ開催しています。

2013年度は下記の通り開催し、近隣の皆様をはじめ多数の方々にお越しいただきました。

#### ●前期公開講座：統一テーマ「岐路に立つ日本」／時間：13時30分～15時30分

	実施日	講座名・演題	講師名等	聴講者数
第1回	5月25日	東アジアに生きる —国際秩序の変容にどう関わるか	遠藤 誠治 成蹊大学法学部教授	220名
第2回	6月1日	地球温暖化とエネルギー	山崎 章弘 成蹊大学理工学部教授	194名
第3回	6月15日	内外経済の構造変化とTPPを考える鍵	増井 彰久 三菱商事株式会社グローバル渉外部グローバル調査チーム課長	204名
第4回	6月22日	これからの難民・移民の受け入れを考える —変動する世界と日本を見据えて	墓田 桂 成蹊大学文学部准教授	141名

#### ●後期公開講座：統一テーマ「コミュニケーションの可能性」／時間：13時30分～15時30分

	実施日	講座名・演題等	講師名等	聴講者数
第1回	11月2日	アカデミズムとジャーナリズムの出会いと ころ	白川 浩介 オリオン書房ルミネ店 副店長兼商品部MD（文芸書担当）／ 宮脇 俊文 成蹊大学経済学部教授	126名
第2回	11月23日	コミュニケーションとしての通訳行為と通 訳者の役割	森住 史 成蹊大学文学部准教授	96名
第3回	12月14日	別居・離婚家族におけるコミュニケーション の可能性を求めて	山口 恵美子 公益社団法人家庭問題 情報センター面会交流援助事業部長	60名
第4回	12月21日	コミュニケーションの可能性を高める新世 代ネットワーク	栗林 伸一 成蹊大学理工学部教授	87名

### (2) アジア太平洋研究センターによる連続講演会、映画上映会とシンポジウムの開催

アジア太平洋研究センターでは、学生や地域の市民の皆様に向けて、より開かれた研究機関を目指すために、今後も多様なイベントを試みることにし、2013年度は次のような事業を行いました。

東アジア地域で政権担当者が相次いで交替し、東アジアの外交関係は大きく転換し、あらためて過去の戦争がクローズアップされました。そこで、2013年度の連続講演会は、メインテーマを「再考・アジアの戦争—私たちは何を学ぶべきか」として、5回にわたって、多彩な講師のもとで多角的に過去の東アジアのみならず広くアジアの戦争・紛争から現在を照射する試みを行いました。各講演のテーマと講師は以下のとおりです。



●連続講演会 「再考・アジアの戦争—私たちは何を学ぶべきか」(全5回)／時間：17時～19時

	実施日	各回のテーマ	講演者等	参加者数
第1回	6月28日	現代における戦争とは何か —アジアの平和を考えるために	愛甲 雄一 成蹊大学アジア太平洋研究センター ／主任研究員	40名
第2回	7月2日	ベトナム戦争と日本 —アメリカ・沖縄・韓国	遠藤 聡 横浜市立大学等非常勤講師	58名
第3回	10月25日	カシュミール紛争を考える —領土と国民主権のあいだ	井上あえか 就実大学教授	17名
第4回	12月13日	南部フィリピン紛争 —民族・宗教間の対立と共存	川島 緑 上智大学教授	53名
第5回	1月20日	朝鮮停戦協定とその後 —東アジアへの影響を考える	高 一 成蹊大学アジア太平洋研究センター/ 客員研究員	48名

2011年度より継続して「アジア太平洋の世界—スクリーンの中の出会い—」をメインテーマに5回にわたって連続映画上映会を開催し、アジア太平洋地域をキーワードとして、上質な映画を提供しました。この上映会は、本学による近隣市民皆様のためのイベントとして定着してきています。

●連続映画上映会 「映画を通じて知るアジア太平洋の世界」(全5回)

日時	上映作品	参加者数
5月21日 18時15分～20時	「オレンジと太陽」(2010年 イギリス・オーストラリア合作作品)	36名
6月17日 18時15分～20時30分	「ムサン日記～白い犬」(2010年 韓国作品)	30名
7月27日 13時30分～16時30分	「私はシベリヤの捕虜だった」(1952年 日本作品) ※あわせて富田武法学部教授による講演を行いました。	70名
10月5日 15時～17時50分	「放射線を浴びた X年後」(2012年 日本作品)	60名
1月15日 18時15分～20時30分	「別離」(2011年 イラン作品)	30名

このほか、内外の研究者を招き、シンポジウムや研究会を開催しました。これらは広く学生や市民に公開されました。

●シンポジウム、セミナーの開催

国際交流基金の助成を得て、国際的な公開シンポジウムを開催しました。

公開シンポジウム

日時	テーマ	出席者	参加者数
6月1日 13時～18時	「シベリア抑留の実態解明へ —求められる国際交流と官民協力」	ヌルラン・ドゥラトベコフ氏（カザフスタン共和国ボラシャーク大学学長） エレナ・カタソノヴァ氏（ロシアモスクワ東洋学研究所上級研究員） 呉 正男氏（カザフスタン抑留体験者） 味方 俊介氏（カザフスタン留学経験者） 有光 健氏（シベリア抑留者支援・記録センター） ヌルシャート・ジュマヂローヴァ氏（カザフスタン共和国ボラシャーク大学教授） ジャンボラート・バイムリノフ氏（カザフスタン共和国ボラシャーク大学准教授） バヤン・ジュヌソソヴァ氏（カザフスタン共和国ボラシャーク大学准教授）	200名

公開拡大研究会

日時	テーマ	出席者	参加者数
12月7日 15時～17時30分	国は許すことができるか？日本・韓国・中国の過去の記憶と未来の挑戦	トマス・W・バークマン ニューヨーク州立大学バッファロー校名誉教授	54名

(3) 成蹊学園史料館企画展示の開催

成蹊学園史料館は、学園の歩みと近代日本という背景のなかでの教育関係史（資）料の展示を通じて、来館者に日本の教育の歴史を理解していただき、広く地域社会の文化の発展に寄与することを目的として、様々な取り組みを行っています。現在、史料館では展示活動の中核をなす常設展示として、創設者の中村春二記念室、学園創世期の池袋時代を展示した展示室1、学園が吉祥寺に移転し現代に至る展示室2、大正自由教育などをテーマした展示室3の全4室を開室しています。また、年に数回企画展示を開催しています。

2013年度の企画展示の活動実績は、下記の通りです。

●企画展示

2013年11月25日～2014年1月28日	成蹊学園 絵はがきクロニクル 1912—2012
2014年2月4日～2月28日	枯林忌特別展示

(4) ロボット教室の開催

武蔵野市内在住・在学の小学校5・6年生を対象とした土曜学校「成蹊大学ロボット教室」（主催：武蔵野市教育委員会）を毎年開催しています。2013年度は10月12日、19日、26日に開催し、理工学部小方博之教授、竹田年延助教が講師をつとめ、「ロボットってなに？：ロボットの楽しい雑学のお話と成蹊大学のハツとする研究の見学会」、「ロボットを作ろう：リモコンで動くロボットを作ってみよう！」、「ロボットで遊ぼう：できあがったロボットを動かして、テクノロジーを理解しよう！！」のテーマで行いました。

時間：10時～12時

	実施日	講座名・演題	担当	参加者数
第1回	10月12日	ロボットってなに？	小方 博之 成蹊大学工学部教授 竹囲 年延 成蹊大学工学部助教	22名
第2回	10月19日	ロボットを作ろう	同上	25名
第3回	10月26日	ロボットで遊ぼう	同上	24名

#### (5) 理工学部主催・参加「体験科学教室」の開催

2013年度は、前年度と同様に3学科合同の高校生対象一日体験科学教室を実施し、多数の参加者を得ました。また例年実施している、成蹊小学生対象、武蔵野市小学生対象の科学教室も行いました。さらに武蔵野市主催の夏休み親子講座「親子 de サイエンス」の小学生高学年講座を本学で開催しました。

このような高校生や小学生に対して科学技術を身近に体験し、最先端の科学技術に触れる機会を提供する取り組みにより、若者の「理科離れ」解消に貢献ができるのではないかと考えています。実際に参加者の中から本学理工学部への入学者も出ています。今後とも継続して実施していくことが、参加者の確保、本学の知名度向上に繋がると考えられます。

- 一般高校生対象一日体験科学教室 第1回 7月14日(日) 9時30分～16時30分 参加者計79名  
体験講義「流れ学に基づくデザイン—モノのカタチのヒミツ—」 小川 隆申 成蹊大学工学部教授

実験テーマ	担当	参加者数
画像処理プログラミングに挑戦してみよう	小池 淳 成蹊大学工学部教授 和田 直哉 成蹊大学工学部助教	11名
音声とジェスチャでヒューマノイドを操作する	中野有紀子 成蹊大学工学部教授 林 佑樹 成蹊大学工学部助教	10名
Javaでアニメーションプログラミング	甲斐 宗徳 成蹊大学工学部教授	11名
仮想インターネットを動かしてみよう	栗林 伸一 成蹊大学工学部教授	6名
センサを使って2人の動きを見よう	小口喜美夫 成蹊大学工学部教授	5名
脳を使い倒そう！ - 君の脳力を高める4つの速効ワザ -	小方 博之 成蹊大学工学部教授	8名
世界で一つだけの形状記憶合金を作ってみよう	酒井 孝 成蹊大学工学部准教授	12名
太陽電池を作ってみよう	齋藤 洋司 成蹊大学工学部教授 渡邊 良祐 成蹊大学工学部助教	9名
3次元空間での仮想工場を体験してみよう	篠田 心治 成蹊大学工学部教授	7名

- 一般高校生対象一日体験科学教室 第2回 7月21日(日) 9時30分～16時30分 参加者計85名

体験講義「iPS細胞とクローン」 久富 寿 成蹊大学理工学部教授

実験テーマ	担当	参加者数	
糖のいろいろ - 味の違いと食品中の糖の分析 -	戸谷希一郎 平野 真	成蹊大学理工学部准教授 成蹊大学理工学部助教	10名
電気と磁気の不思議なコネクション	富谷 光良 坂本 昇一	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	8名
コンピュータでカーボン新素材をデザインする	佐々木成朗 板村 賢明	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	6名
触媒を使って蛍光色素を作ってみよう	里川 重夫 霜田 直宏	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	11名
光、X線を使って分子を見よう	坪村 太郎 西川 道弘	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	13名
油脂含有食品の酸化度を調べよう	原 節子 山本 幸弘	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	10名
木の葉にめっき ―「しおり」を作ろう―	小島 紀徳 山崎 章弘 井上 元基	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	8名
微細加工でポートレート	鈴木 誠一 伊藤 拓哉	成蹊大学理工学部准教授 成蹊大学理工学部助教	3名
化学反応させてプラスチックを作ろう	横山 明弘 高石 和人	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	9名
光をあてると色が変わる化合物をつくる	田中 潔 岩田 理	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	7名

●成蹊小学校対象化学教室 8月10日(土) 13時～16時 参加者 12名

実験テーマ	担当	参加者数	
ゼオライト触媒を使った蛍光色素の合成	里川 重夫 霜田 直宏	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	
酵素を使ったブドウ糖の検出	戸谷希一郎 平野 真	成蹊大学理工学部准教授 成蹊大学理工学部助教	

●武蔵野市夏休み親子講座「親子 de サイエンス」 小学校高学年(4～6年) 講座

8月24日(土) 10時～15時 参加者 78組 151名

実験テーマ	担当	参加者数	
電気を通すセロハンテープを作ろう	里川 重夫 霜田 直宏	成蹊大学理工学部教授 成蹊大学理工学部助教	
酵素を使ったブドウ糖の検出	戸谷希一郎 平野 真	成蹊大学理工学部准教授 成蹊大学理工学部助教	

●むさしのサイエンスフェスタ 於：大野田小学校

11月3日(金) 13時～16時 各ブースにおける参加者は延べ約300名

実験テーマ	担当	参加者数	
ゾウリムシのダンス	鈴木 誠一	成蹊大学理工学部准教授	
1分間計算にチャレンジ	渡邊 一衛	成蹊大学理工学部教授	
ロボットアームを動かしてみよう	鳥毛 明	成蹊大学理工学部准教授	

## (6) 料理を楽しむ会の開催

中学・高等学校では、家庭科の坂井史子教諭、栗原澄子元教諭が中心となって、1999年より毎年「成蹊料理を楽しむ会」を開催しています。これは、本学の敷地内で採れる銀杏、胡桃、桜、筍、梅などを使って料理を作り、季節ごとに旬の味覚を楽しむというもので、地域の方々に好評をいただいています。(2013年5月12日、9月8日実施分は2012年度事業報告書に掲載)

2014年3月23日	「成蹊の桜を使って」
桜おこわ、ずいきの煮物、吸い物、桜餅、鱈のさんが焼きと菜の花のからしあえ、大豆から豆腐づくり	

## (7) 市民聴講生の受け入れ

本学では、学術研究・教育における実績を社会に還元する一環として、一般市民の方々に対象とした聴講制度を設けており、生涯学習の場としてご活用いただいています。本学学生に開講している授業科目のうち特定の科目について、学生とともに聴講することができます。

聴講制度には、一般聴講制度と武蔵野地域自由大学の聴講制度があります。武蔵野地域自由大学とは、武蔵野市と武蔵野地域の五大学（亜細亜大学、成蹊大学、東京女子大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学）との連携による聴講制度です。本学において修了した講座、また武蔵野市が主催する寄附講座、共同講演会、共同教養講座等の講座数に応じて武蔵野地域自由大学独自の称号記（学位）が授与されます。

2013年度、本学では、武蔵野地域学長懇談会（事務局：武蔵野地域自由大学）で開講されている武蔵野地域五大学共同教養講座および五大学共同講演会にて、次の講座・講演会を開催しました。

### ●五大学共同教養講座：テーマ「現代法の最前線」／時間：13時30分～15時00分

	実施日	講座名・演題	講師名等	聴講者数
第1回	9月7日	刑事法の最前線：犯罪被害者の保護に関する近年の動向	飯田 高 成蹊大学法学部教授	86名
第2回	9月14日	社会法の最前線：有期雇用のルールが変わる？—平成24年改正労働契約法の意義と課題	原 昌登 成蹊大学法学部教授	71名
第3回	9月21日	民事法の最前線：約款による取引と法的規制	小林 登 成蹊大学法学部教授	71名
第4回	9月28日	公法の最前線：最高裁による目次的判例変更—最近の憲法訴訟から考える	藤井 樹也 成蹊大学法学部教授	70名

### ●五大学共同講演会：テーマ「現代社会を生きる～ともに学び、つなぎあう～」／時間：13時10分～14時40分

実施日	講座名・演題	講師名等	聴講者数
10月21日	現代家族と社会保障	丸山 桂 成蹊大学経済学部教授	75名

## (8) 高大連携

高校生の学問に対する意欲の啓発と進路意識の向上を図ることを目的として、2002年より武蔵野地域及び周辺の高校と高大連携を実施し、高校生に大学の講義を体験してもらい、将来の進路・進学選択に役立ててもらおう機会を提供しています。2013年4月現在の連携校は、次の12校です。

都立武蔵高等学校、都立武蔵野北高等学校、私立藤村女子高等学校、都立調布北高等学校、都立杉並総合高等学校、都立東大和高等学校、都立井草高等学校、私立文化学園大学附属杉並高等学校、都立豊多摩高等学校、都立荻窪高等学校、都立石神井高等学校、都立保谷高等学校

## (9) 学術・文化・産業ネットワーク多摩を通じての活動

本学は、2002年に設立された「学術・文化・産業ネットワーク多摩」を通じての地域貢献活動に取り組んでいます。「学術・文化・産業ネットワーク多摩」とは、多摩地域にある大学が核となって、多摩地域の大学・行政・企業・団体などの協働を通して、教育を柱に、地域の活性化、調査・研究開発、情報提供、交流促進、大学間連携等を行うコンソーシアムです。

## (10) 成蹊桜祭

毎年4月の第1日曜日に、「成蹊桜祭」を開催し、構内に植えられた120本以上の桜を楽しんでいただけるよう、キャンパスを一般の方々に公開しています。

成蹊桜祭は、同窓会団体である成蹊会が主催し、学園卒業生が中心となって運営するイベントで、近隣の皆様を始め毎年たくさんの方が訪れ、今では武蔵野市の春のイベントにも数えられるようになっています。

2013年度は、残念ながら荒天のため中止となりました。

## (11) 地域清掃活動

成蹊学園建学の日（3月23日）に、創立者中村春二先生が目標とした人格教育の理念である「勤労の実践」を具現化する活動として、2005年度から地域清掃活動を行っています。

2007年度からは、建学の日を含め年4回の定期的な活動として実施しており、2013年度は悪天候のため、予定していた活動のうち、2回が中止となりましたが、5月29日及び10月13日に、在学生、教職員、卒業生、武蔵野市民など、多くの参加を得て、学園周辺・吉祥寺駅周辺から通学・通勤路を含めた地域の清掃活動を行いました。このほかにも、オープンキャンパスの終了後に、大学生が自主的に地域清掃活動を行いました。

## (12) 成蹊大学シェイクスピア・ウィーク

国際教育センターでは、9月14日～21日を「成蹊大学シェイクスピア・ウィーク」とし、講演会および「ヴェローナの二紳士」公演を行いました。

### ●講演会

9月14日に『恋か、友か』の究極選択—もうひとつのロミジュリ』として文芸評論家の小野俊太郎氏を講師に招き、講演会を行いました。約40名の方が参加されました。

### ●「ヴェローナの二紳士」公演

9月21日にケンブリッジ大学ペンブルック劇団を招き、シェイクスピア劇（『ヴェローナの二紳士』）公演を行いました。成蹊の児童・生徒・学生をはじめ、保護者や地域の皆様など約200名の方々にお越しいただきました。

この公演に先立ち、9月19日には中学・高等学校の授業に劇団員をゲストスピーカーとして招いてワークショップを行ったほか、20日には小学校6年生を対象に英語授業を行いました。また、25日には大学生を対象とした劇団員によるワークショップを実施しました。このほかにも、期間中、劇団員が大学授業にゲストスピーカーとして参加し、イギリスやシェイクスピアについて英語で紹介したり、公演ボランティアスタッフと交流を深めたりと充実した一週間となりました。

## 2. 教職員

(2013年5月1日現在)

	法人 合計	法人部門			理工学部			文学部			法学部			経済学部			高等学校			中学校			小学校					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
教員	本務	学(校)長	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	
		副学(校)長	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		教授(論)	274	0	0	0	35	5	40	16	9	25	36	9	45	28	8	36	31	15	46	30	13	43	24	15	39	
		准教授(助教授)	41	0	0	0	10	0	10	9	7	16	4	4	8	2	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		講師	23	0	0	0	1	3	4	2	5	7	0	4	4	4	3	7	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		助教	30	0	0	0	22	3	25	2	0	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		助手	7	0	0	0	4	0	4	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		本務教員合計	379	0	0	0	72	11	83	30	21	51	42	19	61	36	17	53	32	15	47	30	13	43	25	16	41	
	非常勤教員数	537	0	0	0	72	30	102	89	59	148	83	41	124	68	35	103	11	16	27	15	10	25	3	5	8		
職員	本務	事務系	215	10	1	11	18	22	40	17	25	42	18	27	45	23	21	44	5	7	12	3	6	9	4	8	12	
		教務系	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	3	3	6	1	1	2	
		厚生補導系	15	0	0	0	0	2	2	0	4	4	0	5	5	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		技術技能系	3	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		その他	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		本務職員合計	247	10	1	11	20	24	44	18	30	48	18	32	50	24	24	48	8	8	16	6	9	15	5	10	15	
	兼務	80	0	0	0	6	13	19	3	13	16	4	11	15	3	12	15	2	4	6	1	4	5	1	3	4		
総計	1,243	10	1	11	170	78	248	140	123	263	147	103	250	131	88	219	53	43	96	52	36	88	34	34	68			

### 3. 在学生

#### (1) 各学校別在籍者数

##### 大学

##### 学部

(2013年5月1日現在)

学部	学科	総計			学年別数			
		男	女	計	学年	男	女	計
経済学部	経済経営学科	1,324	756	2,080	1年	294	187	481
					2年	328	186	514
					3年	317	178	495
					4年	385	205	590
	計	1,324	756	2,080	計	1,324	756	2,080
理工学部	物質生命理工学科	348	196	544	1年	74	58	132
					2年	83	48	131
					3年	102	46	148
					4年	89	44	133
	情報科学学科	468	111	579	1年	125	22	147
					2年	120	27	147
					3年	102	41	143
					4年	121	21	142
	システムデザイン学科※	239	28	267	1年	128	14	142
					2年	111	14	125
					3年			
					4年			
	エレクトロメカニクス学科	250	25	275	1年	1	0	1
2年					11	0	11	
3年					118	19	137	
4年					120	6	126	
計	1,305	360	1,665	計	1,305	360	1,665	
文学部	英米文学科	140	433	573	1年	41	95	136
					2年	36	121	157
					3年	31	104	135
					4年	32	113	145
	日本文学科	106	286	392	1年	27	72	99
					2年	30	76	106
					3年	18	66	84
					4年	31	72	103
	国際文化学科	101	395	496	1年	23	93	116
					2年	29	101	130
					3年	26	104	130
					4年	23	97	120
	現代社会学科	117	360	477	1年	27	84	111
2年					30	83	113	
3年					30	97	127	
4年					30	96	126	
計	464	1,474	1,938	計	464	1,474	1,938	
法学部	法律学科	825	423	1,248	1年	178	102	280
					2年	222	112	334
					3年	179	107	286
					4年	246	102	348
	政治学科	450	246	696	1年	105	56	161
					2年	108	69	177
					3年	113	61	174
					4年	124	60	184
計	1,275	669	1,944	計	1,275	669	1,944	
合計	4,368	3,259	7,627	合計	4,368	3,259	7,627	

※ 2012年度にエレクトロメカニクス学科より名称変更



大学院

(2013年5月1日現在)

研究科	専攻	博士前期課程						小計	博士後期課程									合計	
		1年次			2年次				1年次			2年次			3年次				小計
		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計		
理工学研究科	理工学専攻	66	8	74	83	15	98	172	0	0	0	1	0	1	4	0	4	5	177
法学政治学研究科	法律学専攻	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	3
	政治学専攻	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	5
	計	0	0	0	1	2	3	3	0	0	0	0	0	0	5	0	5	5	8
文学研究科	英米文学専攻	0	1	1	2	6	8	9	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	11
	日本文学専攻	1	3	4	7	7	14	18	1	0	1	1	0	1	2	2	4	6	24
	社会文化論専攻	0	2	2	2	1	3	5	1	0	1	0	0	0	2	0	2	3	8
	計	1	6	7	11	14	25	32	2	0	2	1	0	1	4	4	8	11	43
経済経営研究科	経済学専攻	3	0	3	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	4
	経営学専攻	5	2	7	2	1	3	10	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	11
	計	8	2	10	2	1	3	13	0	1	1	1	0	1	0	0	0	2	15
大学院 計		75	16	91	97	32	129	220	2	1	3	3	0	3	13	4	17	23	243

(2013年5月1日現在)

専攻	1年次			2年次			3年次			合計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
法務研究科	法務専攻2年	15	1	16	17	5	22	0	0	0	38
	法務専攻3年	13	6	19	6	3	9	21	7	28	56
	計	28	7	35	23	8	31	21	7	28	94

研究生・聴講生・委託生・科目等履修生・協定留学生・特別聴講学生数

(2013年5月1日現在)

	研究生			聴講生			委託生			科目等履修生			協定留学生			特別聴講学生			計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
学部	経済学部	0	0	0	12	5	17	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	7	7	14	12	26
	理工学部	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	1	1	3	2	5
	文学部	0	0	0	59	59	118	0	0	0	5	15	20	0	0	0	4	20	24	68	94	162
	法学部	0	0	0	27	4	31	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	3	30	5	35
	成蹊教養カリキュラム	—	—	—	31	15	46	—	—	—	11	6	17	0	0	0	2	14	16	44	35	79
	複数学部	—	—	—	43	28	71	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	18	18	43	46	89
大学院	理工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	法学政治学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	文学研究科	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	経済経営研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	法務研究科	47	10	57	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	47	11	58
国際教育センター	1	0	1	2	6	8	0	0	0	0	0	0	4	9	13	0	0	0	7	15	22	
大学 計	50	10	60	175	117	292	0	0	0	22	23	45	4	9	13	8	61	69	259	220	479	

(注1) 聴講生は、一般聴講生、武蔵野地域自由大学聴講生、外国人聴講生のうち学部科目・日本語科目を聴講する者、市役所職員聴講生の総数

(注2) 学部の特別聴講学生は武蔵野地域5大学、ネットワーク多摩での受入れ学生数

(注3) 複数学部は、2学部以上聴講の学生数

高等学校 (2013年5月1日現在)

	男	女	計	定員
第1学年	189	145	334	322
第2学年	175	144	319	322
第3学年	186	129	315	322
計	550	418	968	966

中学校 (2013年5月1日現在)

	男	女	計	定員	国際学級			
					男	女	計	定員
第1学年	145	121	266	252	5	6	11	15
第2学年	148	118	266	267				
第3学年	139	121	260	267				
計	432	360	792	786	5	6	11	15

小学校 (2013年5月1日現在)

	男	女	計	定員	国際学級			
					男	女	計	定員
第1学年	56	55	111	112				
第2学年	56	55	111	112				
第3学年	56	56	112	112				
第4学年	53	55	108	112	9	6	15	16
第5学年	61	62	123	112	0	0	0	16
第6学年	60	62	122	112	0	0	0	16
計	342	345	687	672	9	6	15	48

※5年、6年国際学級児童は4月の時点で一般学級に在籍している

## 4. 2014 年度入学試験状況

大学

(2014 年 3 月 31 日現在)

学部	学科	一般入試							AO マルデス入試・その他							推薦入学					完了者 合計	
		方式	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学 完了者 手続	競争率	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学 完了者 手続	競争率	区分	志願者	受験者	合格者	入学 完了者 手続		
経済	経済経営	A 地歴公民型	130	2,744	2,425	461	144	5.3	一般	30	101	101	33	28	3.1	成蹊高校	60	60	60	53	499	
		数学型	45	684	611	135	49	4.5	帰国生		1	1	0	0	0.0	指定校	150	150	150	150		
		E	45	988	959	201	52	4.8	社会人		3	3	3	3	1.0							
		C	40	2,018	2,018	289	20	7.0	外国人		3	3	0	0	0.0							
	計		260	6,434	6,013	1,086	265	5.5		30	108	108	36	31	3.0		210	210	210	203	499	
理工	物質生命理工	A	43	716	612	103	32	5.9	一般	8	20	18	7	7	2.6	成蹊高校	0	0	0	0	138	
		E	13	216	202	39	11	5.2	帰国生		0	0	0	0	0.0	指定校	62	62	62	62		
		C	27	696	694	169	21	4.1	社会人		0	0	0	0	0.0							
		S	4	109	108	28	4	3.9	外国人		1	1	1	1	1.0							
	情報科	A	43	779	656	124	54	5.3	一般	8	30	29	8	8	3.6	成蹊高校	0	0	0	0	131	
		E	13	354	339	43	12	7.9	帰国生		2	1	0	0	0.0	指定校	33	33	33	33		
		C	27	883	880	190	21	4.6	社会人		0	0	0	0	0.0							
		S	4	73	72	28	3	2.6	外国人		0	0	0	0	0.0							
	システムデザイン	A	43	548	446	90	31	5.0	一般	8	21	20	11	10	1.8	成蹊高校	0	0	0	0	139	
		E	13	239	234	54	18	4.3	帰国生		2	1	1	0	1.0	指定校	23	23	23	23		
		C	27	768	768	230	55	3.3	社会人		0	0	0	0	0.0							
		S	4	49	49	27	2	1.8	外国人		2	2	0	0	0.0							
	計		261	5,430	5,060	1,125	264	4.5		24	78	72	28	26	2.6		118	118	118	118	408	
	文	英米文	A	53	544	441	146	63	3.0	一般	6	14	14	5	4	2.8	成蹊高校	2	2	2	2	129
			E	12	309	301	46	11	6.5	帰国生		3	3	2	1	1.5	指定校	40	40	40	40	
			C	11	545	544	181	8	3.0	社会人		0	0	0	0	0.0						
									外国人		0	0	0	0	0.0							
日本文		A	43	548	467	132	50	3.5	一般	3	4	4	3	2	1.3	成蹊高校	2	2	2	2	95	
		E	8	230	222	37	13	6.0	帰国生		0	0	0	0	0.0	指定校	19	19	19	19		
		C	8	535	533	100	9	5.3	社会人		0	0	0	0	0.0							
									外国人		0	0	0	0	0.0							
国際文化		A	50	804	708	179	72	4.0	一般	6	14	14	7	3	2.0	成蹊高校	6	6	6	4	121	
		E	8	322	311	55	5	5.7	帰国生		2	2	2	0	1.0	指定校	27	27	27	27		
		C	12	661	660	159	10	4.2	社会人		0	0	0	0	0.0							
									外国人		0	0	0	0	0.0							
現代社会		A	46	505	451	132	60	3.4	一般	6	11	11	6	4	1.8	成蹊高校	4	4	4	4	125	
		E	10	272	266	63	15	4.2	帰国生		1	1	0	0	0.0	指定校	33	33	33	33		
		C	8	509	509	120	9	4.2	社会人		0	0	0	0	0.0							
									外国人		0	0	0	0	0.0							
計		269	5,784	5,413	1,350	325	4.0		21	49	49	25	14	2.0		133	133	133	131	470		
法	法律	A	105	1,566	1,328	304	130	4.4	一般	6	4	4	3	2	1.3	成蹊高校	7	7	7	5	279	
		E	24	569	555	140	25	4.0	帰国生		0	0	0	0	0.0	指定校	57	57	57	57		
		C	30	1,110	1,107	309	20	3.6	社会人		0	0	0	0	0.0							
		P	30	141	141	118	40	1.2	外国人		0	0	0	0	0.0							
	政治	A	55	910	766	167	64	4.6	一般	4	4	4	2	1	2.0	成蹊高校	7	7	7	6	166	
		E	12	314	302	72	13	4.2	帰国生		0	0	0	0	0.0	指定校	41	41	41	41		
		C	20	698	695	204	23	3.4	社会人		0	0	0	0	0.0							
		P	20	68	68	61	18	1.1	外国人		0	0	0	0	0.0							
計		296	5,376	4,962	1,375	333	3.6		10	8	8	5	3	1.6		112	112	112	109	445		
大学計		1,086	23,024	21,448	4,936	1,187	4.3		85	243	237	94	74	2.5		573	573	573	561	1,822		

大学院

(2014年3月31日現在)

研究科	専攻	博士前期課程/専門職学位課程				博士後期課程			
		志願者数	受験者数	合格者数	入学手続完了者	志願者数	受験者数	合格者数	入学手続完了者
理工学研究科	理工学専攻	79	78	63	62	2	2	2	2
	計	79	78	63	62	2	2	2	2
経済経営研究科	経済学専攻	5	4	3	3	0	0	0	0
	経営学専攻	6	6	6	4	1	1	0	0
	計	11	10	9	7	1	1	0	0
法学政治学研究科	法学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
	政治学専攻	2	1	0	0	0	0	0	0
	計	2	1	0	0	0	0	0	0
文学研究科	英米文学専攻	3	3	3	3	2	2	2	2
	日本文学専攻	6	5	5	4	2	2	2	2
	社会文化論専攻	7	6	6	5	0	0	0	0
	計	16	14	14	12	4	4	4	4
法務研究科		65	54	27	15				
合計		173	157	113	96	7	7	6	6

高等学校・中学校

(2014年3月31日現在)

		募集人員	志願者	受験者 (a)	合格者 (b)	繰上げ合格者 (c)	倍率 a / (b + c)	①入学手続完了者	②成蹊各学校からの推薦入学手続完了者	①+②合計
高等学校	第1学年	一般入試 男女合わせて約70名	236	228	151	11	1.4	93	246	339
		帰国生入試 男女合わせて若干名	26	21	11	0	1.9	6		
	第2学年	編入試 男女合わせて若干名	3	3	2	0	1.5	2		2
中学校	第1学年 一般入試	第1回 男子 約50名 女子 約35名	262	238	138	0	1.7	101	103	249
		第2回 男子 約25名 女子 約20名	430	242	83	0	2.9	45		
	第1学年 国際学級入試	男女合わせて約10名	43	37	28	0	1.3	20		20
		二次募集 若干名	—	—	—	—	—	—	—	—
	2012年度 第1学年 国際学級入試 (1年9月編入)	男女合わせて若干名	7	5	3	0	1.7	3		3
第2学年 帰国生編入試	男女合わせて若干名	12	12	4	0	3.0	3		3	

(注) ①高等学校、中学校の入学手続完了者は、入学手続完了後の辞退者を除いた入学決定者  
②再入学者は含んでいない

小学校

(2014年3月31日現在)

		募集人員	志願者	受験者	合格者	①入学手続完了者	②成蹊各学校からの推薦入学手続完了者	①+②合計
小学校	第1学年	112名	644	511	112	112	—	112
	国際学級	4年 16名	21	20	16	16	—	16

(注) ①小学校の入学手続完了者は、入学手続完了後の辞退者を除いた入学決定者  
②再入学者は含んでいない

## 5. 学生数・入学者数・入学志願者数・教職員数の推移

### 学生数の推移

(単位：人)

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
大 学	収容定員	6,858	7,002	7,147	7,294	7,441
	在学者数	8,218	8,186	8,287	8,113	7,964
高等学校	収容定員	966	966	966	966	966
	在学者数	976	981	974	973	968
中 学 校	収容定員	801	801	801	801	801
	在学者数	790	793	795	794	792
小 学 校	収容定員	720	720	720	720	720
	在学者数	710	704	706	700	702
合 計	収容定員	9,345	9,489	9,634	9,781	9,928
	在学者数	10,694	10,664	10,762	10,580	10,426

(注) 在学者数は各年度の5月1日現在の人数、大学には大学院を含む

### 入学者数の推移

(単位：人)

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
経済学部	入学定員	435	480	480	480	480
	入学者数	466	501	502	515	481
理工学部	入学定員	360	390	390	390	390
	入学者数	383	363	462	385	401
文学部	入学定員	403	440	440	440	440
	入学者数	537	483	472	482	461
法学部	入学定員	390	430	430	430	430
	入学者数	440	467	454	480	441
合 計	入学定員	1,588	1,740	1,740	1,740	1,740
	入学者数	1,826	1,814	1,890	1,862	1,784
高等学校		331	332	323	324	334
中学校		266	266	266	264	266
小学校		112	112	110	111	112
合計		2,535	2,524	2,589	2,561	2,496

(注1) 入学者数は各年度の5月1日現在の新生の人数

### 一般入試における入学志願者数の推移

(単位：人)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
大学					
経済学部	7,622	7,241	7,149	6,542	6,434
理工学部	4,997	5,039	5,147	5,170	5,430
文学部	6,418	7,172	6,175	4,856	5,784
法学部	6,168	5,799	5,030	5,258	5,376
小計	25,205	25,251	23,501	21,826	23,024
法務研究科	279	214	143	104	65
大学院	186	184	173	123	115
大学計	25,670	25,649	23,817	22,053	23,204
高等学校	314	248	267	263	263
中学校	842	769	757	614	614
小学校	854	849	671	636	644
合計	27,680	27,515	25,512	23,566	24,725

(注1) 年度は入学年度(2011年度版より改訂)

(注2) 大学院は、工学研究科、文学研究科、法学政治学研究科及び経済経営研究科の合計人数

(注3) 2010年度版以前はAOマルデス入試含み、2011年度版よりAOマルデス入試含まない

### 教職員数の推移

(単位：人)

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
国際教育センター	専任	7	9	11	12	11
	非常勤	6	6	3	5	6
大学教員	専任	233	242	240	242	241
	非常勤	436	457	509	479	472
中高教員	専任	89	89	89	89	89
	非常勤	53	56	57	56	52
小学校教員	専任	37	37	39	40	40
	非常勤	9	9	8	8	8
職員	事務	216	230	243	244	238
	労務・技術	4	4	5	5	5
合計	専任	586	611	627	632	624
	非常勤	504	528	577	548	538

(注1) 教職員数は各年度の5月1日現在の人数

(注2) 教員には、特別任用教授・教諭を含み、大学専任教員には養護教諭3名を含む

(注3) 職員には契約職員を含む

## 6. 留学

### 大学

#### (1) 国費留学生 1名 (大学院生 1名) (2014年1月1日現在)

文学研究科 博士前期課程	非正規生男子	1	イタリア共和国
-----------------	--------	---	---------

#### (2) 私費留学生 7名 (大学院生3名 大学生4名) (2014年1月1日現在)

文学研究科 博士後期課程	正規生男子	1	中華人民共和国
博士前期課程	正規生男子	1	中華人民共和国

理工学研究科 博士前期課程	正規生男子	1	大韓民国
------------------	-------	---	------

理工学部 システムデザイン学科	正規生男子	2	中華人民共和国
情報科学科	正規生男子	1	アルバニア共和国

法学部 法律学科	正規生男子	1	中華人民共和国
-------------	-------	---	---------

#### (3) 派遣・受け入れ留学生

##### 協定留学生 (派遣 長期プログラム) (2014年1月1日現在)

	男	女
モナシュ大学	0	0
マードック大学	0	1
グリフィス大学	0	0
リヨン第三大学	0	1
エディンバラ大学	1	0
アメリカン大学	1	1
ビクトリア大学	0	1
ボン大学	1	0
ハイデルベルク大学	0	1
高麗大学	0	0
同済大学	0	0
復旦大学	0	1
北京大学	2	0

※成蹊大学からの留学生は、原則として留学先大学における学部開講科目の受講が認められている

##### 協定留学生 (受け入れ)

(2014年1月1日現在)

	男	女	受入学部/研究科
エディンバラ大学	1	0	国際教育センター
ビクトリア大学	0	0	
リヨン第三大学	0	1	国際教育センター
グリフィス大学	0	0	
モナシュ大学	0	0	
マードック大学	0	0	
ボン大学	0	1	経済学部
ハイデルベルク大学	0	2	国際教育センター
チェンマイ大学	0	1	国際教育センター
同済大学	1	0	文学部
復旦大学	1	0	文学部
高麗大学	1	0	経済学部

※受け入れ学部が国際教育センターとなっている受け入れ協定留学生は、学部開講科目ではなく日本語の学習のみを希望する学生

協定留学生（派遣 短期・中期プログラム）

（2013年4月1日～2014年3月31日）

	男	女
ビクトリア大学（短期）	4	6
エディンバラ大学（短期）	2	10
ケンブリッジ大学（短期）	4	12
北京大学（短期）	0	0
高麗大学（短期）	0	1
アルカラ大学シスネロス校	2	1
オークランド大学（短期）	3	8
ミュンヘン大学（短期）	7	7
モナシュ大学（短期）	9	18
マンチェスター大学（中期・春）	0	1
マンチェスター大学（中期・秋）	2	4
クイーンズランド大学（中期・春）	0	1
クイーンズランド大学（中期・秋）	0	3

JSAF 協定留学生（派遣）（2013年4月1日～2014年3月31日）

	男	女
カリフォルニア州立大学チコ	3	2
ユタ大学	1	4
モンタナ大学	0	4
オレゴン大学	0	1
ライト州立大学	1	0
セントマイケルズカレッジ	0	1
インディアナ州立大学	1	2
テネシー工科大学	0	1
アシュランド大学	1	0
ダブリンシティ大学	1	0
ニューカッスル大学	0	1
モンタナ大学	0	3

※認定留学からの切り替え者を含む

認定留学生

（2013年4月1日～2014年3月31日）

国名	男	女
アメリカ合衆国	10	11
中華人民共和国	2	2
英国	0	1
アイルランド	1	0

## 高等学校

### (1) 交換留学生 (2013年4月1日～2014年3月31日)

留学先	男	女
成蹊高等学校からセントポールズ校へ	0	1
セントポールズ校から成蹊高等学校へ	1	0
成蹊高等学校からカウラ校へ	0	1
カウラ校から成蹊高等学校へ	0	1

### (2) 一般留学生 (2013年4月1日～2014年3月31日)

国名	男	女
アメリカ合衆国	3	2
フランス	1	1
ドイツ	1	0
フィリピン	1	0

### (3) 受け入れ留学生

国名	男	女
ノルウェーより	1	1
ブラジルより	0	1
スイス連邦より	0	1
スペインより	0	1
ブラジル連邦共和国より	0	1

### 留学プログラムによる短期留学

プログラム名	男	女
ケンブリッジ大学夏期短期留学	4	19
カウラ高校夏期短期留学	8	8

### 受け入れ留学生 (中期・短期)

国名	男	女
オランダ	0	1
アメリカ合衆国 (短期)	2	1



## 7. 卒業生の状況

### (1) 卒業生数

(2014年3月31日現在)

学校		男女	男	女	計
大学	大学院	博士前期課程	91	28	119
		博士後期課程	2	0	2
		法務研究科	28	6	34
	学部	985	753	1,738	
高等学校			184	128	312
中学校			138	119	257
小学校			60	61	121

### (2) 就職・進学状況

大学(9月卒業生を含む)

(2014年3月31日現在)

学部	学科	性別	卒業生数	就職者数		進学者数				その他				不詳
				正規	正規でない者	大学院	大学学部	短大専攻科等	専門学校外国の学校等	一時的な仕事	進学準備中	就職準備中	その他	
				*1	*2			*3	*4	*5			*6	
経済	経済経営	男	308	253	1	7	1		2	6	4	19	5	10
		女	182	158	3	2			1	3	3	5		7
		計	490	411	4	9	1	0	3	9	7	24	5	17
文	英米文	男	26	21		2				1		2		
		女	107	87	4	1			3	3		5	2	2
		計	133	108	4	3	0	0	3	4	0	7	2	2
	日本文	男	25	19	1				1	1		2		1
		女	64	53	1				1			5		4
		計	89	72	2	0	0	0	2	1	0	7	0	5
	国際文化	男	17	10		1				1		2	3	
		女	91	74	1				5	2		6		3
		計	108	84	1	1	0	0	5	3	0	8	3	3
	現代社会	男	27	22		1			1			3		
		女	96	83	3	1				2		5		2
		計	123	105	3	2	0	0	1	2	0	8	0	2
計	男	95	72	1	4			2	3		9	3	1	
	女	358	297	9	2			9	7		21	2	11	
	計	453	369	10	6	0	0	11	10	0	30	5	12	
法	法律	男	192	135	1	7			1	4	1	20	8	15
		女	93	76	1	1			2	3	1	4	2	3
		計	285	211	2	8	0	0	3	7	2	24	10	18
	政治	男	91	66	3	5	3			5		7		2
		女	55	52	1					1			1	
		計	146	118	4	5	3	0	0	6	0	7	1	2
計	男	283	201	4	12	3		1	9	1	27	8	17	
	女	148	128	2	1			2	4	1	4	3	3	
	計	431	329	6	13	3	0	3	13	2	31	11	20	
文系学部系		男	686	526	6	23	4		5	18	5	55	16	28
		女	688	583	14	5			12	14	4	30	5	21
		計	1,374	1,109	20	28	4	0	17	32	9	85	21	49
理工	物質生命	男	79	55	1	19			1			2		1
		女	40	31		6							3	
		計	119	86	1	25	0	0	1	0	0	2	3	1
	情報科学	男	109	76		18				2	1	3	3	6
		女	20	17		1				1		1		
		計	129	93	0	19	0	0	0	3	1	4	3	6
	エレクトロメカニクス	男	111	81		26			1				1	2
		女	5	3		2								
		計	116	84	0	28	0	0	1	0	0	0	1	2
計	男	299	212	1	63			2	2	1	5	4	9	
	女	65	51		9				1		1	3		
	計	364	263	1	72	0	0	2	3	1	6	7	9	
大学計		男	985	738	7	86	4		7	20	6	60	20	37
		女	753	634	14	14			12	15	4	31	8	21
		計	1,738	1,372	21	100	4	0	19	35	10	91	28	58

\* 上表は2013年9月卒業生を含む

\*1 正規の職員・従業員、自営業主等

\*2 正規の職員等でない者(雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当の者)

\*3 短期大学本科、専攻科、別科

\*4 専修学校・外国の学校等入学者

\*5 一時的な仕事に就いた者(雇用契約が1年未満又は短時間勤務の者)

\*6 家事手伝いを含む

大学院

博士前期課程 (9月修了生を含む)

(2014年3月31日現在)

		理工学研究科				法学政治学研究科			文学研究科				経済経営研究科			合計	
		物質生命	情報科学	エレメカ	計	法律学	政治学	計	英米文学	日本文学	社会文化論	計	経済学	経営学	計		
修了者	男	27	22	31	80		1	1	1	7		8		2	2	91	
	女	11	3	1	15	1	1	2	3	6	1	10		1	1	28	
	計	38	25	32	95	1	2	3	4	13	1	18	0	3	3	119	
内訳	就職者	男	25	21	28	74			0		1		1			75	
		女	10	3	1	14	1	1	2	1	2		3		1	1	20
		計	35	24	29	88	1	1	2	1	3	0	4	0	1	1	95
	進学者	男	2			2			0	1	1		2			0	4
		女				0			0	1	1		2			0	2
		計	2	0	0	2	0	0	0	2	2	0	4	0	0	0	6
	研究	男				0			0				0			0	0
		女				0			0				0			0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	男		1	3	4		1	1		5		5		2	2	12
		女	1			1			0	1	3	1	5			0	6
		計	1	1	3	5	0	1	1	1	8	1	10	0	2	2	18

博士後期課程

(2014年3月31日現在)

		理工学研究科				法学政治学研究科			文学研究科				経済経営研究科			法務	合計	
		物質生命	情報科学	エレメカ	計	法律学	政治学	計	英米文学	日本文学	社会文化論	計	経済学	経営学	計			
修了者	男	2			2			0				0			0	28	30	
	女				0			0				0			0	7	7	
	計	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	37	
内訳	就職者	男	1			1			0				0			0		1
		女				0			0				0			0		0
		計	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	研究	男				0			0				0			0	28	28
		女				0			0				0			0	7	7
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	35
その他	男	1			1			0				0			0		1	
	女				0			0				0			0		0	
	計	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
満期退学者	男				0		1	1			1	1			0		2	
	女				0			0	1			1			0		1	
	計	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	0	0	0	3	

高等学校・中学校・小学校

(2014年3月31日現在)

項目	学校	高等学校	中学校	小学校	計
	卒業生数		312	257	121
内訳	学内進学者	77	246	103	426
	他学校進学者	147	10	18	175
	その他	88	1	0	89

## (3) 高等学校卒業生の主な進学先

(2014年3月31日現在)

卒業生総数		312
進学者総数		224
進学者内訳	成蹊大学	77
	国公立大学	16
	私立大学	129
	留学・留学準備	0
	短期大学	1
	専門学校	1
その他		0

学校名		入学者数	学校名	入学者数
成蹊大学	経済学部	53	北里大学	3
	理工学部	0	昭和大学	1
	文学部	12	学習院大学	1
	法学部	12	明治学院大学	1
<国公立>			東京医科大学	3
首都大学東京	1	東京農業大学	4	
東京農工大学	1	国際基督教大学	1	
一橋大学	1	津田塾大学	3	
千葉大学	2	武蔵野美術大学	2	
東京医科歯科大学	1	明治薬科大学	1	
東京外国語大学	2	東海大学	1	
北海道大学	1	東洋英和女学院大学	1	
筑波大学	2	立命館アジア太平洋大学	1	
東京藝術大学	1	芝浦工業大学	2	
東京工業大学	1	帝京大学	2	
新潟大学	1	國學院大学	1	
京都大学	1	日本歯科大学	3	
横浜市立大学	1	東京歯科大学	1	
<私立>			立命館大学	1
早稲田大学	24	共立女子大学	1	
立教大学	10	多摩美術大学	1	
慶應義塾大学	14	順天堂大学	1	
明治大学	8	女子美術大学	1	
上智大学	11	東京音楽大学	1	
中央大学	4	<短期大学>		
東京理科大学	6	帝京短期大学	1	
青山学院大学	4	<専門学校>		
日本大学	6	H A L 東京	1	
法政大学	4			

















## 9. 納付金

(いずれも年額で単位は円)

### 大学（経済学部、文学部、法学部）

入学年度	項目	在学年度			
		第1年度	第2年度	第3年度	第4年度以降
2013年度	授業料	730,000	770,000	770,000	770,000
	施設費	170,000	170,000	170,000	170,000
	設備費	40,000	40,000	40,000	40,000
2012年度	授業料	—	770,000	770,000	770,000
	施設費	—	170,000	170,000	170,000
	設備費	—	40,000	40,000	40,000
2011年度	授業料	—	—	770,000	770,000
	施設費	—	—	170,000	170,000
	設備費	—	—	40,000	40,000
2010年度	授業料	—	—	—	770,000
	施設費	—	—	—	170,000
	設備費	—	—	—	40,000
2009年度	授業料	—	—	—	770,000
	施設費	—	—	—	170,000
	設備費	—	—	—	40,000

### 大学（理工学部）

入学年度	項目	在学年度			
		第1年度	第2年度	第3年度	第4年度以降
2013年度	授業料	960,000	990,000	1,020,000	1,050,000
	施設費	300,000	300,000	300,000	300,000
	設備費	120,000	120,000	120,000	120,000
2012年度	授業料	—	990,000	1,020,000	1,050,000
	施設費	—	300,000	300,000	300,000
	設備費	—	120,000	120,000	120,000
2011年度	授業料	—	—	1,030,000	1,080,000
	施設費	—	—	300,000	300,000
	設備費	—	—	120,000	120,000
2010年度	授業料	—	—	—	1,080,000
	施設費	—	—	—	300,000
	設備費	—	—	—	120,000
2009年度	授業料	—	—	—	1,080,000
	施設費	—	—	—	300,000
	設備費	—	—	—	120,000

### 大学院

入学年度・項目		法学政治学・文学・経済経営各研究科		理工学研究科	
		博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程
2013年度	授業料	520,000	440,000	750,000	610,000
2012年度	施設費	100,000	100,000	260,000	260,000
2011年度	設備費	20,000	20,000	100,000	100,000

## 法科大学院

入学年度・項目		学生種別
		正規生
2013年度	授業料	1,050,000
	施設費	240,000
2009年度	設備費	60,000

入学金（大学、大学院とも）	300,000
入学金（法科大学院）	150,000

※次の場合は入学金を免除

- ・ 本学の学部を卒業した者が、大学院に入学するとき。
- ・ 本学の大学院の博士前期課程又は法科大学院の課程を修了した者が、博士後期課程に入学するとき。

入学年度・項目		学生種別	長期履修学生	
			修業年限4年	修業年限5年
2013年度	授業料		787,500	630,000
	施設費		180,000	144,000
	設備費		45,000	36,000
2012年度	授業料		787,500	630,000
	施設費		180,000	144,000
	設備費		45,000	36,000
2011年度	授業料		800,000	645,000
	施設費		180,000	144,000
	設備費		45,000	36,000
2010年度	授業料		825,000	670,000
	施設費		180,000	144,000
	設備費		45,000	36,000
2009年度	授業料		—	720,000
	施設費		—	144,000
	設備費		—	36,000

## 高等学校・中学校

項目	入学年度	2013年度		2012年度		2011年度	
		高等学校	中学校	高等学校	中学校	高等学校	中学校
入学金		300,000	300,000				
授業料		620,000	620,000	620,000	620,000	620,000	620,000
施設費		200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
特別教育費		—	310,000	—	—	—	—

※中学校の特別教育費は国際学級入学者のみ納入

※ 2007年度入学生より中学校の国際学級は第1学年のみとし、第2学年から普通学級へ移行する。

## 小学校

項目	入学年度	2013年度	2011年度～ 2012年度	2008年度～ 2010年度
		入学金	300,000	
授業料	710,000	710,000	660,000	
施設費	210,000	210,000	210,000	

## 小学校国際

項目	入学年度	2013年度	2011年度～ 2012年度
		入学金	300,000
授業料	660,000	660,000	
施設費	210,000	210,000	
特別教育費	285,000	285,000	

## 10. 補助金・助成金

(1) 私立大学等経常費補助金 (国)	813,468,000 円
(2) 私立大学等研究設備整備費等補助金 (国)	22,652,000 円
(3) 私立大学等研究装置等整備費等補助金 (国)	62,704,000 円
(4) 科学研究費補助金 (内訳)	(単位：円)

	所 属	研究代表者名	研究種目名	交付決定額	研 究 課 題 名
日本学術振興会	経済学部	鷹岡 澄子	若手研究 (A) 間接経費	1,900,000 570,000	企業・銀行関係の価値と社債市場への影響
	経済学部	野島 美保	若手研究 (B) 間接経費	500,000 150,000	電子化がコンテンツ価格に与える影響
	経済学部	山本 晶	若手研究 (B) 間接経費	900,000 270,000	クチコミの経済的価値に関する研究
	経済学部	伊藤 克容	基盤研究 (C) 間接経費	800,000 240,000	日本の管理会計の変容に関する理論的・実証的研究
	経済学部	井上 潔司	基盤研究 (C) 間接経費	800,000 240,000	グラフ上の離散確率分布とその応用に関する研究
	経済学部	大野 正智	基盤研究 (C) 間接経費	400,000 120,000	国際収支不均衡とグローバル経済
	経済学部	財城 真寿美	基盤研究 (C) 間接経費	1,200,000 360,000	19 世紀以前の東南・東アジア気象観測記録と日本の歴史 天候記録による気候変動の解明
	経済学部	佐々木 大介	基盤研究 (C) 間接経費	1,200,000 360,000	日本統治時代の台湾・朝鮮ろう学校における手話教育：ろ う者への聞き取り調査を通して
	経済学部	永野 護	基盤研究 (C) 間接経費	600,000 180,000	クロスボーダー M&A とグリーンフィールド FDI：直接投 資選択要因の研究
	文学部	今田 絵里香	若手研究 (B) 間接経費	700,000 210,000	1945～70 年の少年少女雑誌文化における異性愛主義の 拡大に関する研究
	文学部	平野 多恵	若手研究 (B) 間接経費	600,000 180,000	仏教との関係性を軸とする新たな和歌史の構築に向けた総 合的研究
	文学部	小林 盾	基盤研究 (B) 間接経費	7,800,000 2,340,000	少子化社会における家族形成格差の調査研究—ソーシャ ル・キャピタル論アプローチ
	文学部	下河辺 美知子	基盤研究 (B) 間接経費	2,300,000 690,000	モンロー・ドクトリンの行為遂行的効果と 21 世紀グロ ーバルコミュニティの未来
	文学部	遠藤 不比人	基盤研究 (B) 間接経費	3,700,000 1,110,000	英国モダニズムの情動空間に関する総合的かつ国際的研究
	文学部	細谷 広美	基盤研究 (B) 海外 間接経費	3,500,000 1,050,000	格差社会における紛争後の平和構築の実態と課題：パル ーの真実委員会と先住民
	文学部	小野 尚美	基盤研究 (C) 間接経費	900,000 270,000	早期英語から中学校英語への架け橋：文学教育を取り入 れた指導法と教材モデル開発研究
	文学部	中野 由美子	基盤研究 (C) 間接経費	900,000 270,000	アメリカ合衆国における「市民」と「国民」の差異化に 関する比較的研究
	文学部	西 兼志	基盤研究 (C) 間接経費	1,400,000 420,000	映像アーカイブ環境を活用したメディア文化学確立：東 日本大震災の放送を例として
	文学部	澁谷 智子	研究活動スタート支援 間接経費	1,000,000 300,000	家族ケアを行なう子ども（ヤングケアラー）の社会学的 研究
	法学部	板橋 拓己	基盤研究 (C) 間接経費	1,300,000 390,000	ドイツ政治外交史像の再検討—「伝統」と「革新」の視 角から
	法学部	李 林静	若手研究 (B) 間接経費	800,000 240,000	ホジェン語の音声・映像資料による電子コーパスの構築 及びそれに基づく記述研究
	理工学部	岩崎 学	基盤研究 (A) 間接経費	8,100,000 2,430,000	多種多様なデータに基づく統計的評価法の総合的研究
	理工学部	佐々木 成朗	基盤研究 (B) 間接経費	700,000 210,000	摩擦可変フラレン分子ペアリングシステムの設計
	理工学部	藤原 均	基盤研究 (B) 間接経費	4,300,000 1,290,000	電離圏嵐の数値予報：北極・赤道域観測と連携したシミュ レーション手法開発と実証
	理工学部	鈴木 聡	基盤研究 (C) 間接経費	1,700,000 510,000	直感的問題発見とピアレビューのスキルを高めるアカデ ミックライティングの学習環境
	理工学部	大倉 元宏	基盤研究 (C) 間接経費	1,300,000 390,000	視覚障害者の鉄道駅プラットフォームからの転落事例の多 角的分析と対策
	理工学部	酒井 孝	基盤研究 (C) 間接経費	400,000 120,000	陶器表面性状不規則性が有する癒しの高精度な定量評価
	理工学部	高瀬 将道	基盤研究 (C) 間接経費	700,000 210,000	写像の特異点理論の低次元トポロジー的研究

	所 属	研究代表者名	研究種目名	交付決定額	研 究 課 題 名
日 本 学 術 振 興 会	理工学部	中野 武雄	基盤研究 (C) 間接経費	1,700,000 510,000	大電力パルススパッタにおけるパルスオフ期間のターゲット電位を用いた薄膜構造制御
	理工学部	岩本 宏之	基盤研究 (C) 間接経費	1,700,000 510,000	多重スマートフィルム構造による革新的遮音制御法
	理工学部	横山 明弘	基盤研究 (C) 間接経費	1,200,000 360,000	ビス (カルボニルアミノ) ピリジン構造を利用した大環状化合物の構築
	理工学部	戸谷 希一郎	若手研究 (A) 間接経費	3,300,000 990,000	糖鎖プロセッシング機能に立脚した小胞体ストレス関連疾患の化学的解析
	理工学部	石井 卓	若手研究 (B) 間接経費	1,100,000 330,000	実簡約群上の球関数とアルキメデスゼータ積分
	理工学部	稲垣 具志	若手研究 (B) 間接経費	1,400,000 420,000	生活道路における視覚障害者の交差点横断特性と交通安全施設の歩行支援性に関する研究
	理工学部	高石 和人	若手研究 (B) 間接経費	1,700,000 510,000	組井桁不斉化合物の創製と機能化
	理工学部	中野 有紀子	基盤研究 (B) 間接経費	3,900,000 1,170,000	会話エージェントによるグループ討論コミュニケーションの評価と改善支援の研究
	理工学部	菅沼 秀樹	基盤研究 (B) 間接経費	7,600,000 2,280,000	水資源利用最適化を考慮した乾燥地大規模バイオマス生産手法の開発と実用化
	理工学部	平野 真	若手研究 (B) 間接経費	1,700,000 510,000	エンドサイトーシスレセプターの発現と機能を制御するアダプター分子の機能解析
	理工学部	三浦 正志	若手研究 (B) 間接経費	1,100,000 330,000	人工欠陥導入により縦磁界効果利用大容量超伝導ケーブルは実現可能か？
	理工学部	山本 真基	若手研究 (B) 間接経費	500,000 150,000	サンプリングアルゴリズムの新提案
	理工学部	戸谷 希一郎	挑戦的萌芽研究 間接経費	1,200,000 360,000	小胞体エンドマンノシダーゼの発見と糖タンパク質品質管理に対する意義
	理工学部	中野 有紀子	挑戦的萌芽研究 間接経費	900,000 270,000	認知症高齢者の状態把握を行う聞き手エージェントの研究開発
	アジア太平洋 研究センター	香川 めい	若手研究 (B) 間接経費	700,000 210,000	生徒減少期の高校教育機会提供構造—政策動向と需要側の意識・行動の総合的解明

- (5) 私立学校経常費補助金 (都) 677,924,000 円  
(6) 私立高等学校都内生就学促進補助金 (都) 1,609,300 円  
(7) 結核予防費補助金 (都) 689,173 円  
(8) 私立高等学校等就学支援金学校事務費補助金 (都) 599,000 円  
(9) 私立高等学校等授業料軽減助成金 (東京都私学財団) 9,163,600 円  
(10) 学術研究振興資金 1,000,000 円  
(11) 保存樹林等補助金 (武蔵野市) 57,000 円  
(12) 成蹊会学術教育助成金 4,800,000 円  
(内訳)

①学術・教育研究助成金

(単位:万円)

職 名	氏 名	専 攻	研究種別	研究課題	交付額
経済学部専任講師	福澤光啓	技術経営論	個人研究	デジタル化した製品の開発マネジメントに関する理論枠組みの構築と実証研究: 製品アーキテクチャ論の視点から	25
理工学部教授	浅野雅子	素粒子論	個人研究	弦の場の理論による高階スピニング場の普遍的構造の探求	25
中学・高校教諭	佐藤尚衛	生物科	個人研究	ニホンヤマビル ( <i>Haemadipsa zeylanica japonica</i> ) の教材開発	20
中学・高校教諭	宮本浩司	国語科	個人研究	ワークショップを取り入れた授業の実践研究	20
中学・高校教諭	齋藤敬子	外国語	個人研究	グローバル人材育成に必要な、中等教育と英語教育の役割を探る	20
中学・高校教諭	山戸眞子	外国語	個人研究	グローバル人材育成プラン採用大学の視察と英語教育カリキュラム研究	20
中学・高校教諭	上田郁子	養護	個人研究	思春期の心の問題と変化についての理論的解釈と実践	20
中学・高校教諭	渡邊 大	保健体育	個人研究	スポーツ指導における IT ツールの活用とその効果について	20
小学校教諭	梅田 奏	小学全科	個人研究	教材研究~童話の魅力の研究~	20
小学校教諭	市川 敦	小学全科	個人研究	iPad を利用した理科授業 ~録画した実験の説明を取り入れた表現活動を通して~	20
小学校教諭	秋山聡美	養護	個人研究	保健室に来室した子どもの“心の安定”を図る「もの」の探求	20

## ②学術・教育振興助成金

(単位:万円)

学校	事業内容	交付額
小学校	教育研究誌「すもも」25号の発行	40

## ③国際交流助成金

(単位:万円)

学校	事業内容	交付額
中学・高等学校	カウラ校、およびセントポールズ校からの留学生についてその生活および学校生活にかかる費用に対する助成	90

## ④スポーツ振興助成金

1,200,000円

成蹊中学・高等学校	72万円
成蹊小学校	48万円

## (13) 成蹊大学研究助成金

7,843,644円

(内訳)

(単位:円)

種別	所属	氏名	職名	助成額	研究テーマ	研究期間
個人	経済	山上 浩明	専任講師	700,000	持続可能な資源利用と技術開発促進政策	2013.4～2015.3 2年間
共同	経済	河路 武志	教授	3,000,000	企業の社会的責任活動の意思決定および実績評価プロセスに関する実証的研究	2013.4～2016.3 3年間
共同	経済	井出多加子	教授	1,392,000	地域建設業の産業構造と人材育成に関する理論および実証研究	2013.4～2016.3 3年間
個人	文	牟田 悦子	教授	696,244	日本における教師のインクルーシブ教育への態度—北欧諸国との比較	2013.4～2015.3 2年間
共同	文	小野 尚美	教授	2,055,400	本研究では、日本人大学生の読み書きにおける躓きの原因を究明し、その結果を踏まえて、英国圏で既に効果が認められている“Reading Recovery Program「読み書き回復プログラム」”の指導理念と指導方法を応用し、彼らの読み書き能力向上を目指す指導方法を開発する。	2013.4～2016.3 3年間
共同	経済	井上 智夫	教授	2,837,000★	ソブリン・リスクの原因に関する実証的検証	2012.4～2015.3 3年間※

※ 2013年度に期間延長申請

★ 2012年度に申請済

# 11. 奨学

大学

(単位:人)

種類	学部・年次	経済学部				理工学部				文学部				法学部				大学院		計
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	前	後	
学内	成蹊大学給付奨学金	2	3	3	2	2	2	5	1	2	1	2	5	2	5	2	1			40
	岡野奨学金			1				2					2		2					7
	成蹊大学社会人入学生奨学金				1															1
	関育英奨学金																	1		1
	清水建設奨学金			4	3			3	3			4	4			3	3			27
	成蹊大学学修支援奨学金1年生	4				20				7				7						38
	成蹊大学学修支援奨学金2年生以上		15	15	15		15	15	15		15	15	15		15	15	15			180
	成蹊大学大学院奨学金																	115	11	126
	成蹊大学法科大学院給付奨学金A種																	14		14
	成蹊大学法科大学院給付奨学金B種																	21		21
	成蹊大学貸与奨学金	3	2		7	4	3	4	5	1	2	1	2	7	3	1	4	3		52
	成蹊大学法科大学院貸与奨学金一種																	9		9
	成蹊大学法科大学院貸与奨学金二種																			0
	成蹊大学法科大学院貸与奨学金三種																			0
	成蹊会育英奨学金		3		6		2	3			1	3	1		4	2		7		32
	成蹊大学内部推薦入学者奨学金									1										1
成蹊大学大学院研究奨励金																		2	2	
学外	日本学生支援機構第一種奨学金	48	42	34	37	49	52	47	34	32	43	40	45	50	55	47	39			694
	日本学生支援機構第二種奨学金	88	99	80	77	90	95	91	85	73	93	91	85	89	98	89	89			1412
	日本学生支援機構大学院第一種奨学金																	40	2	42
	日本学生支援機構大学院第二種奨学金																	22	2	24
	日本学生支援機構法科大学院第一種奨学金																	7		7
	日本学生支援機構法科大学院第二種奨学金																	6		6
	日揮・実吉奨学会奨学金(給付)						2											2		4
	中村積善会奨学金(貸与)			2	1		1	1												5
	中村積善会奨学金(給付)			1	1															2
	安藤記念奨学金				1							1								2
	三菱UFJ信託奨学財団奨学金		2	1	2															5
	旭硝子奨学会奨学金																			0
	オーディオテクニカ奨学会奨学金						1													1
国際教育センター	成蹊学園三菱留学生奨学金																			0
	成蹊大学外国留学奨学金(長期協定派遣留学生)		2		2						1	2				3	1			11
	成蹊大学外国留学奨学金(中期協定派遣留学生)		1	4							4	3			1					13
	成蹊大学外国留学奨学金(短期協定派遣留学生)	1	2						1		5	1			2					12
	JSAF 学部留学奨学金			3	2							10	3			2	1			21
合計	146	171	148	157	165	173	171	144	116	165	173	162	155	185	164	153	247	17	2,812	



高等学校

(単位：人)

種別	学年			
	第1学年	第2学年	第3学年	計
成蹊学園三菱留学生奨学金	0	1	0	1
財団法人 朝鮮奨学会 高校奨学生	0	0	1	1
東京都育英資金奨学生	1	0	1	2
東京都私立高等学校授業料軽減助成	36	23	28	87
成蹊高等学校貸与奨学金	0	1	0	1
成蹊会育英奨学金	2	0	2	4
計	39	25	32	96

中学校

(単位：人)

種別	学年			
	第1学年	第2学年	第3学年	計
成蹊中学校貸与奨学金	1	0	0	1
中村春二記念育英奨学金	0	0	1	1
成蹊会育英奨学金	0	0	1	1
計	1	0	2	3

小学校

(単位：人)

種別	学年						
	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	計
成蹊小学校貸与奨学金	0	0	0	0	0	0	0

## 12. 図書等資料

### ■大学図書館（2013年度末）

#### (1) 蔵書数

分類		前年度 蔵書数	登録数 図書	登録数 雑誌	除籍数	蔵書数
和書 (日本十進分類表)	総記(000)	114,314	2,252	231	27	116,770
	哲学(100)	29,870	755	21	16	30,630
	歴史(200)	65,388	1,785	62	9	67,226
	社会科学(300)	281,131	7,211	641	172	288,811
	自然科学(400)	41,289	879	35	12	42,191
	技術(500)	45,405	911	96	22	46,390
	産業(600)	35,523	594	35	15	36,137
	芸術(700)	28,588	912	45	10	29,535
	言語(800)	21,616	631	0	10	22,237
	文学(900)	139,360	3,429	21	11	142,799
	特殊資料分類ほか	20,651	143	81	3	20,872
	小計	823,135	19,502	1,268	307	843,598
洋書 (デューイ十進分類表)	総記(000)	43,261	41	121	0	43,423
	哲学(100)	15,284	90	6	0	15,380
	宗教(200)	7,155	46	0	1	7,200
	社会科学(300)	130,497	1,144	620	93	132,168
	言語(400)	29,447	182	2	1,302	28,329
	自然科学(500)	34,523	64	365	24	34,928
	技術(600)	37,797	60	352	9	38,200
	芸術(700)	6,029	122	15	1	6,165
	文学(800)	69,759	377	1	0	70,137
	歴史(900)	27,500	171	58	3	27,726
	特殊資料分類ほか	5,077	247	262	8	5,578
	小計	406,329	2,544	1,802	1,441	409,234
合計	1,229,464	22,046	3,070	1,748	1,252,832	

#### (2) 雑誌所蔵種類数

	和雑誌	洋雑誌	合計
所蔵雑誌種類数	6,877	2,917	9,794
受入(継続)雑誌種類	2,126	819	2,945

#### (3) 仮登録受入冊数

	和	洋	合計
成蹊大学研究助成図書	75	0	75
教員個人研究費図書	149	0	149

#### (4) 電子図書・マイクロフィルム図書・電子ジャーナル

電子図書	14,492
マイクロフィルム図書	26,384
電子ジャーナル	27,446

#### (5) 図書タイトル数、雑誌タイトル数の総計

図書タイトル	1,293,708
雑誌タイトル	9,794
(継続雑誌タイトル)	2,945

## (6) 図書館資料貸出等利用冊数 (2013 年度)

分類	学生		学生 合計	教職員	卒業生	その他	合計	
	学部	大学院						
和書 (日本十進分類表)	総記 (000)	11,080	904	11,984	13,185	491	925	26,585
	哲学 (100)	2,087	353	2,440	3,120	92	62	5,714
	歴史 (200)	4,433	388	4,821	1,223	352	206	6,602
	社会科学 (300)	23,082	7,707	30,789	15,780	588	456	47,613
	自然科学 (400)	3,339	590	3,929	3,050	53	117	7,149
	技術 (500)	2,128	437	2,565	1,145	55	43	3,808
	産業 (600)	2,368	131	2,499	1,120	92	35	3,746
	芸術 (700)	3,496	174	3,670	2,150	136	147	6,103
	言語 (800)	4,120	293	4,413	1,710	30	90	6,243
	文学 (900)	14,894	1,640	16,534	13,850	232	617	31,233
	特殊資料分類ほか	5,285	229	5,514	2,560	30	468	8,572
	別置貸出資料	5,709	0	5,709	0	0	0	5,709
	小計	82,021	12,846	94,867	58,893	2,151	3,166	159,077
洋書 (デューイ十進分類表)	総記 (000)	20	1	21	185	2	4	212
	哲学 (100)	55	65	120	550	0	17	687
	宗教 (200)	6	25	31	1,325	0	5	1,361
	社会科学 (300)	239	104	343	1,480	4	17	1,844
	言語 (400)	8,486	178	8,664	1,035	0	22	9,721
	自然科学 (500)	10	8	18	1,050	0	10	1,078
	技術 (600)	30	5	35	240	3	11	289
	芸術 (700)	10	92	102	1,365	0	11	1,478
	文学 (800)	418	85	503	505	0	29	1,037
	歴史 (900)	25	4	29	1,040	0	16	1,085
	特殊資料分類ほか	13,739	216	13,955	3,265	53	732	18,005
	別置貸出資料	14,554	0	14,554	0	0	0	14,554
	小計	37,592	783	38,375	12,040	62	874	51,351
合計	119,613	13,629	133,242	70,933	2,213	4,040	210,428	

## (7) 情報図書館入館者数 (2013 年度)

学部学生	経済学部	138,754	教職員	6,944	成蹊高等学校生*	22
	理工学部	103,486	名誉教授	302	武蔵野地域市民	1,217
	文学部	134,360	客員研究員	392	他大学等	213
	法学部	146,466	非常勤講師	2,616	見学者*	19,666
	小計	523,066	聴講生	4,711	その他	2,310
大学院	36,582	卒業生	5,049	合計	603,090	

\*の利用者は数値は概算

高等学校・中学校図書室

(2014年3月31日現在)

学校	種別	生徒・児童用図書					計	教員用図書	合計
		辞書 辞典	年鑑	図鑑	地図帳 写真集	参考図書 その他			
高等学校		1,748	266	578	331	64,445	67,368	17,236	84,604
中学校		1,020	94	1,108	632	51,121	53,975	—	53,975
計		2,768	360	1,686	963	115,566	121,343	17,236	138,579

利用人員 高等学校 1日平均 約100名  
 中学校 // 約100名

<参考>A・V資料

	生徒用	教員用	計
高校	1,347	2,363	3,710
中学	598	—	598
計	1,945	2,363	4,308

小学校図書室

(2014年3月31日現在)

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術工学	産業	芸術美術	言語	文学	その他(※)	合計
732	290	2,488	2,330	3,704	1,314	909	1,706	1,276	15,686	831	31,266

(※)「その他」には、不明図書(システムで分類されない)、システムで管理していない図書、及び、今年度原簿データと照合予定の図書の冊数を含みます。

利用人員 小学校 1日平均 110名

## 13. 学園施設

### (1) 土地

所在	面積 (㎡)
東京都武蔵野市吉祥寺北町	273,179.03
神奈川県足柄下郡箱根町元箱根	208,241.29
長野県北佐久郡軽井沢町大字笈地字牛道	4,031.00
埼玉県戸田市戸田公園	452.00
合計	485,903.32

### (2) 建物

所在	面積 (㎡)
東京都武蔵野市吉祥寺北町他、108 棟	161,729.78

### (3) 体育施設

	名称	面積 (㎡)
土地	学園総合運動場	88,417.21
	中学・高等学校運動場	15,671.01
	小学校運動場	3,000.00
建物	大学体育館	3,168.43
	南体育館	1,124.87
	小体育館	749.75
	大学卓球場	357.21
	大学弓道場	159.03
	中高第 1 体育館	1,732.55
	中高第 2 体育館	1,791.79
	小学校体育館	3,556.14
	戸田艇庫	378.30

(注) 体育施設は (1) 土地、(2) 建物の中より抽出したものである

## (4) 校外施設利用状況(宿泊延人数)2013年度

(上段は学校行事利用内数)  
(下段( )は招待者内数)

## ■箱根寮

月別 所属	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
大学生												12	12
	88	147	37	14	319	373	113	78	1	25	3	37	1,235
高校生													0
	0	0	0	18	25	0	0	0	0	0	0	68	111
中学生													0
	0	6	0	60	6	0	0	15	36	3	0	19	145
小学生			329	664		610							1,603
	1	11	329	674	21	610	4(2)	11	1	4	0	17	1,683(2)
教職員			27	46		52						7	132
	10	11(2)	39	70	52	75	10(3)	13	5	18	2	27	332(5)
卒業生・父母等			9	18		7						6	40
	103(2)	98	52	84	132	26(4)	206(4)	125	63	71	26	74	1,060(10)
幼児													0
	1	7	3	2	8	2	2	11	3	5	2	11	57
月別合計	0	0	365	728	0	669	0	0	0	0	0	25	1,787
	203(2)	280(2)	460	922	563	1086(4)	335(9)	253	109	126	33	253	4,623(17)

## ■虹芝寮

(上段は学校行事利用内数)

月別 所属	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
大学生													0
	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
高校生													0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生													0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生													0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員													0
	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
卒業生・父母等													0
	21	21	41	6	43	39	42	29	12	4	0	19	277
月別合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21	22	49	6	43	39	42	29	12	4	0	19	286

## 14. 財務の内容

### ■ 1. 2013 年度決算の概要

学園の経営状態を示す消費収支計算では、帰属収入が予算と比較して1億円増加いたしました。これは、手数料、寄付金等の増加があったことによるものです。消費収入合計は、基本金組入額を差し引いて129億43百万円になり、予算を2億83百万円上回りました。

一方、人件費や教育研究経費などの消費支出は予算より83百万円多く、合計は136億88百万円となりました。なお、予備費のうち、2億30百万円を人件費、教育研究経費・管理経費予算に充当しています。

この結果、消費収支差額は7億45百万円の消費支出超過となりました。しかし、繰越消費収支差額は、前年度から繰越された5億44百万円の収入超過額から今年度の支出超過額を差し引き、基本金取崩額を加えた結果、1億75百万円の支出超過となりました。

#### (1) 消費収支計算について

2013（平成25）年4月1日から2014（平成26）年3月31日まで

#### 消費収入の部

（単位：百万円）

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	11,360	11,312	△ 48
手数料	624	695	71
寄付金	213	256	43
補助金	1,603	1,590	△ 14
(国庫補助金収入)	( 912 )	( 899 )	( △ 14 )
(地方公共団体補助金収入)	( 690 )	( 690 )	( 0 )
(その他補助金収入)	( 1 )	( 1 )	( 0 )
資産運用収入	339	361	22
資産売却差額	0	19	19
事業収入	194	177	△ 17
雑収入	302	324	23
帰属収入合計	14,634	14,735	100
基本金組入額合計	△ 1,974	△ 1,791	183
消費収入の部合計	12,660	12,943	283

#### 納付金

納付金は、帰属収入の大部分を占めており、その内訳は、授業料等の103億51百万円と入学金の9億61百万円です。

#### 手数料

手数料の大部分を占める入学検定料は6億79百万円でした。

#### 寄付金

教育充実資金寄付金は1億74百万円でした。

#### 帰属収入合計

帰属収入は学校の負債とならない実質的な収入で、予算と比較して1億円増加しました。

#### 基本金組入額合計

第1号基本金：5億87百万円  
 第2号基本金：5億円（大学施設設備整備資金）  
 6億円（中高施設設備整備資金）  
 1億円（小学校施設設備整備資金）  
 第3号基本金：4百万円（理工学研究助成基金）

#### 消費支出の部

（単位：百万円）

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	8,104	8,104	0
教育研究経費	4,461	4,494	33
管理経費	1,000	1,000	0
借入金等利息	2	2	0
資産処分差額	12	68	56
徴収不能引当金繰入額	26	10	△ 16
徴収不能額	0	10	10
(予備費)	( 230 )		0
	0		
消費支出の部合計	13,604	13,688	83
当年度消費収支差額	△ 944	△ 745	
前年度繰越消費収支差額	544	544	
基本金取崩額	-	26	
次年度繰越消費収支差額	△ 400	△ 175	

#### 消費収入の部合計

2013年度の消費支出に充当できる消費収入は、予算を2億83百万円上回りました。

\*\*\* \*\*

#### 人件費

教職員の人件費等と退職給与引当金繰入額の合計額です。

#### 予備費

2億30百万円のうち、2億30百万円を使用しました。

#### 消費支出の部合計

予算を83百万円上回りました。

#### 当年度消費収支差額

消費収入から消費支出を差し引いた当年度消費収支差額は、7億45百万円の消費支出超過となりました。

#### 次年度繰越消費収支差額

前年度から繰り越された収入超過額から今年度の支出超過額を差し引き、基本金取崩額を加えた結果、1億75百万円の支出超過となりました。

(注) 1. 収入及び支出の差異欄の△印は予算額より決算額が少なかったことを示しています。  
 2. 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

#### 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入と消費支出の内容を明らかにし、消費収支の均衡状態が保たれているかどうかを示すもので、これによって、経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。企業会計における損益計算書に類似しています。

## (2) 資金収支計算について

2013（平成25）年4月1日から2014（平成26）年3月31日まで

### 収入の部

（単位：百万円）

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	11,360	11,312	△ 48
手数料収入	624	695	71
寄付金収入	193	208	15
補助金収入	1,603	1,590	△ 14
（国庫補助金収入）	（ 912 ）	（ 899 ）	（ △ 14 ）
（地方公共団体補助金収入）	（ 690 ）	（ 690 ）	（ 0 ）
（その他補助金収入）	（ 1 ）	（ 1 ）	（ 0 ）
資産運用収入	339	361	22
資産売却収入	4,000	4,258	258
事業収入	194	177	△ 17
雑収入	302	324	23
借入金等収入	0	1	1
前受金収入	2,148	2,299	151
その他の収入	4,796	4,798	2
資金収入調整勘定	△ 2,737	△ 2,790	△ 53
前年度繰越支払資金	8,808	8,808	
収入の部合計	31,630	32,041	411

#### 資産運用収入

奨学基金をはじめとする資産を運用して得られた受取利息や配当金、施設利用料収入です。

#### 資産売却収入

主に保有する有価証券の満期時の償還金です。

#### 事業収入

事業収入の内訳は、受託事業収入が52百万円、補助活動収入が1億25百万円でした。

#### 前受金収入

2014年度新入生からの納付金21億67百万円と、教育充実資金寄付金など1億32百万円を収受しました。なお、この収入は2014年度の収入になります。

#### その他の収入

その他の収入の大半は、過去に積み上げた退職給与引当特定資産等の特定資産から当該年度の支払いに充当する金額を支払資金に繰り入れた額であり、その他は2012年度末の未収入金の収入等です。

### 支出の部

（単位：百万円）

\*\* \*\* \* \* \* \* \* \*

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	8,099	8,096	△ 3
教育研究経費支出	2,706	2,696	△ 10
管理経費支出	856	836	△ 21
借入金等利息支出	2	2	0
借入金等返済支出	100	100	0
施設関係支出	2,780	2,736	△ 44
設備関係支出	392	341	△ 52
資産運用支出	7,528	7,705	177
その他の支出	734	701	△ 33
〔予備費〕	（ 293 ）		
	57		△ 57
資金支出調整勘定	△ 527	△ 679	△ 153
次年度繰越支払資金	8,902	9,508	605
支出の部合計	31,630	32,041	411

#### 教育研究経費支出

直接・間接に教育研究に充当した支出です。消費収支計算書の「教育研究経費」に比べ金額が少ないのは減価償却額を含まないことによります。管理経費支出も同様です。

#### 施設関係支出

主な内容は次のとおりです。

- ・大学4号館舞台照明装置等改修
- ・大学10号館セキュリティシステム改修
- ・南プール濾過装置・ボイラー更新
- ・新大学6号館建築

#### 設備関係支出

教育研究用備品や図書などの購入費です。

#### 資産運用支出

資産運用支出の内訳は、施設設備整備資金や第3号基本金引当資産、退職給与引当特定資産などへの積上げと有価証券の購入支出などです。

#### その他の支出

主に前年度末の未払金を当年度に支払った前期末未払金支払支出です。

#### 予備費

3億50百万円のうち、2億93百万円を使用しました。

#### 次年度繰越支払資金

資金収入の合計は、予算と比較して4億11百万円ほど上回り、320億41百万円となりました。一方経費支出抑制により、支出は予算を1億95百万円下回り、225億33百万円となりました。この結果、次年度への繰越支払資金は、予算より6億5百万円増加し、95億8百万円となりました。

（注）1. 収入及び支出の差異欄の△印は予算額より決算額が少なかったことを示しています。  
2. 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

#### 資金収支計算書

資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容ならびにその年度における支払資金の収入および支出のてん末を明らかにするためのもので、経営状態を反映する目的の計算書ではありません。

#### 資金収入（支出）調整勘定とは・・・

資金収支計算書では、当年度の諸活動に対応する実際の収入支出が前年度または翌年度であっても、当年度の資金収支計算書に含めて表示します。そのため、資金の実際の収入支出を、当年度の諸活動に対応する収入支出に調整する必要が生じます。その際用いられる勘定を「資金収入（支出）調整勘定」と言います。

（例：当年度開講された授業に対する授業料収入のうち、前年度末に当年度入学予定者から納付された分については、前年度の資金収入に該当するので「前期末前受金」という資金収入調整勘定科目を用いて調整する。）



### (3) 貸借対照表について

2014年3月31日現在

#### 資産の部

(単位：百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
<b>固定資産</b>	81,955	80,757	1,198
有形固定資産	43,730	42,624	1,106
土地	6,492	6,492	0
建物・構築物	27,393	28,765	△1,372
備品	1,277	1,384	△107
図書	5,799	5,670	129
その他	2	1	1
建設仮勘定	2,768	314	2,454
その他の固定資産	38,225	38,133	93
有価証券	3,832	3,232	600
指定包括信託	1,498	1,465	33
特定目的引当資産	23,499	24,012	△513
第3号基本基金引当資産	8,913	8,909	4
その他	483	514	△31
<b>流動資産</b>	12,877	13,231	△353
現金・預金	9,508	8,808	699
有価証券	2,999	3,995	△996
その他	371	428	△57
合 計	94,833	93,988	845

#### 有形固定資産

2013年度は、建物（大学4号館舞台照明装置等改修）や建設仮勘定（新大学6号館建築）のほか備品や図書の取得費が計上され、11億6百万円の増加となりました。

なお、減価償却累計額は次のとおりです。

本年度末：329億12百万円

前年度末：313億71百万円

#### その他の固定資産

93百万円増加しました。

#### 流動資産

3億53百万円減少しました。

#### 資産合計

8億45百万円増加しました。

\*\*\* \*\*

#### 固定負債・流動負債

2014年度返済予定の長期借入金を短期借入金に振り替えたことにより固定負債が90百万円減少し、流動負債は1億11百万円減少しました。

#### 負債、基本基金、消費収支差額の部

(単位：百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
<b>負債</b>	7,210	7,411	△201
固定負債	3,997	4,087	△90
長期借入金	101	201	△100
長期未払金	4	2	2
退職給与引当金	3,891	3,883	8
流動負債	3,213	3,325	△111
前受金	2,299	2,432	△133
その他	915	893	22
<b>基本基金</b>	87,797	86,032	1,765
第1号基本基金	76,601	74,039	2,561
第2号基本基金	1,200	2,000	△800
第3号基本基金	8,913	8,909	4
第4号基本基金	1,084	1,084	0
<b>消費収支差額</b>	△175	544	△718
翌年度繰越消費収支差額	△175	544	△718
合 計	94,833	93,988	845

(注) 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

(参考) 純資産（自己資金）の変化

(資産合計) (負債額) (純資産額)

2013年度 94,833 - 7,210 = 87,623 百万円

2012年度 93,988 - 7,411 = 86,577 百万円

増加額 845 + 201 = 1,046 百万円 … 2013年度純資産増加額

#### 基本基金

基本基金とは、学校法人の諸活動に必要な資産を継続的に維持するために帰属収入から組み入れるものです。

**第1号基本基金**：学校運営のために基本的に必要とする建物、機器備品、図書等の有形固定資産を自己資金で取得した時に組み入れる金額です。

**第2号基本基金**：将来の校舎等の取得のため計画的にその支払資金を積上げる施設設備整備資金です。

**第3号基本基金**：奨学基金など、基金として継続的に保持し、運用する金銭その他の資産の額です。

**第4号基本基金**：学校法人が恒常的に保持すべき資金として、およそひと月分の運転資金に相当する額が組み入れられます。

#### (4) 財産目録

(2014 (平成 26) 年 3 月 31 日現在)

I 資産総額	127,770,067,878 円
内 基本財産	76,689,299,656 円
運用財産	51,080,768,222 円
II 負債総額	40,147,276,122 円
III 正味財産	87,622,791,756 円

(単位：円)

1 資産額	摘 要	金額
(1) 基本財産		
土地	校地・武蔵野市吉祥寺北町所在他	485,903.32 m <sup>2</sup> 6,491,834,808
建築物	校舎他・武蔵野市吉祥寺北町所在他	161,729.78 m <sup>2</sup> 50,810,215,891
構築物	体育施設・その他	5,881,423,083
建設仮勘定	大学 6 号館新築工事	2,767,762,988
教育研究用機器備品	教具・校具類	32,231 点 4,592,614,390
その他の機器備品	事務用備品類	840 点 265,172,521
図書	大学、アジア太平洋研究センター、高校、中学、小学校	1,440,832 冊・点 5,798,765,716
車両	乗用車・貨物自動車	4 台 9,084,551
電話加入権		89 本 2,746,508
ソフトウェア		42 点 69,679,200
小計		76,689,299,656
(2) 運用財産		
有価証券	株式・国債・地方債・社債他	6,830,983,655
指定包括信託	学園資産運用委託	1,498,240,159
特定資産	退職給与引当特定資産他	23,498,863,527
第 3 号基本金引当資産	教育振興基金引当資産他	8,912,737,000
現金・預金	現金・銀行預金他	9,507,879,456
未収入金	納付金・退職金財団等交付金他	347,469,030
貸付金	奨学金他	445,838,090
保証金	警備機器保証金	10,516,700
立替金		9,437,417
前払金	海外研修費他	17,835,748
仮払金		967,440
小計		51,080,768,222
合計		127,770,067,878
2 負債額	摘 要	金額
(1) 固定負債		
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団、東京都私学財団	101,400,000
長期未払金	物品リース料	4,114,656
小計		105,514,656
(2) 流動負債		
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団、東京都私学財団	100,600,000
未払金	物品購入代金他	659,648,420
前受金	納付金及び教育充実資金	2,298,503,500
預り金	源泉所得税他	154,719,009
小計		3,213,470,929
(3) 引当金		
退職給与引当金		3,891,095,372
減価償却引当金		32,912,175,405
徴収不能引当金		25,019,760
小計		36,828,290,537
合計		40,147,276,122

## ■ 2.5 カ年の財務状況推移

### (1) 消費収支計算書決算額 5 カ年推移

#### 収支の部

(単位：百万円)

科 目	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
学生生徒等納付金	11,600	11,590	11,712	11,480	11,312
手数料	792	794	723	680	695
寄付金	375	396	386	459	256
補助金	1,561	1,640	1,604	1,576	1,590
(国庫補助金収入)	838	881	896	853	899
(地方公共団体補助金収入)	721	757	708	722	690
(その他補助金収入)	2	2	1	1	1
資産運用収入	471	439	406	374	361
資産売却差額	6	1	0	0	19
事業収入	239	205	207	173	177
雑収入	437	302	384	514	324
帰属収入合計	15,481	15,366	15,422	15,255	14,735
基本金組入額合計	△ 1,111	△ 718	△ 1,033	△ 1,046	△ 1,791
消費収入の部合計	14,370	14,647	14,389	14,209	12,943

#### 2012 年度と 2013 年度の差異について

\*納付金は、在学者数の減少により減収となりました。

\*手数料は、主に大学の入学志願者数が増加したことにより増収となりました。

\*寄付金は学園創立 100 周年記念事業募金が 2012 年度に終了したことにより減収となりました。

\*補助金は主に ICT 活用推進事業に係る補助金が 5 件採択されたことにより国庫補助金が増収となっています。

\*雑収入の額に変化が大きいのは、退職金財団等から交付される退職資金が雑収入に含まれており、退職者の状況により交付される資金に増減があるためです。

#### 支出の部

(単位：百万円)

科 目	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
人件費	7,847	7,901	7,970	8,326	8,104
教育研究経費	4,474	4,367	4,556	4,566	4,494
管理経費	886	880	1,048	1,304	1,000
借入金等利息	31	3	3	2	2
資産処分差額	604	64	47	123	68
徴収不能引当金繰入額	9	9	10	4	10
徴収不能額	11	11	6	9	10
消費支出の部合計	13,862	13,234	13,641	14,334	13,688
当年度消費収支差額	508	1,413	748	△ 125	△ 745
前年度繰越消費収支差額	△ 3,116	△ 2,194	△ 781	12	544
基本金取崩額	414	0	45	657	26
翌年度繰越消費収支差額	△ 2,194	△ 781	12	544	△ 175

\*基本金組入額は、大学、中高ならびに小学校の施設設備整備資金の積み上げを行ったことにより増加しました。

\*毎年度人件費が増減する一つの要因は、退職給与引当金繰入額が増減することです。

\*基本金取崩額は、中学・高等学校において基本金の取崩額が組入額を上回る結果となったことによります。

### (2) 消費収支計算書関係比率の推移

(単位：%)

財務比率	算式 (上段÷下段×100)	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	全国平均
人件費比率	人件費	50.7%	51.4%	51.7%	54.6%	55.0%	52.8%
	帰属収入						
人件費依存率	人件費	67.6%	68.2%	68.0%	72.5%	71.6%	71.9%
	学生生徒等納付金						
教育研究経費比率	教育研究経費	28.9%	28.4%	29.5%	29.9%	30.5%	31.2%
	帰属収入						
管理経費比率	管理経費	5.7%	5.7%	6.8%	8.5%	6.8%	9.2%
	帰属収入						
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出	10.5%	13.9%	11.5%	6.0%	7.1%	4.8%
	帰属収入						
消費収支比率	消費支出	96.5%	90.4%	94.8%	100.9%	105.8%	107.9%
	消費収入						
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	74.9%	75.4%	75.9%	75.3%	76.8%	73.4%
	帰属収入						

全国平均：2012 年度医歯系法人を除く大学法人の全国平均決算値 (出所：日本私立学校振興・共済事業団『平成 25 年度版 今日の私学財政』)

### (3) 資金収支計算書決算額5ヵ年推移

#### 収入の部

(単位：百万円)

科 目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
学生生徒等納付金収入	11,600	11,590	11,712	11,480	11,312
手数料収入	792	794	723	680	695
寄付金収入	335	347	332	411	208
補助金収入	1,561	1,640	1,604	1,576	1,590
(国庫補助金収入)	838	881	896	853	899
(地方公共団体補助金収入)	721	757	708	722	690
(その他補助金収入)	2	2	1	1	1
資産運用収入	471	439	406	374	361
資産売却収入	856	1,264	2,327	3,307	4,258
事業収入	239	205	207	173	177
雑収入	437	302	384	470	324
借入金収入	501	0	1	0	1
前受金収入	2,440	2,540	2,516	2,428	2,299
その他の収入	2,899	1,355	2,828	3,954	4,798
資金収入調整勘定	△ 2,929	△ 2,753	△ 2,896	△ 2,941	△ 2,790
前年度繰越支払資金	10,524	11,734	11,689	10,585	8,808
収入の部合計	29,726	29,457	31,833	32,497	32,041

#### 支出の部

(単位：百万円)

科 目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
人件費支出	8,193	7,996	8,269	8,372	8,096
教育研究費支出	2,496	2,474	2,694	2,714	2,696
管理経費支出	727	725	886	1,136	836
借入金等利息支出	31	3	3	2	2
借入金等返済支出	689	0	101	101	100
施設関係支出	1,001	382	1,048	548	2,736
設備関係支出	444	430	325	368	341
資産運用支出	4,140	5,621	7,858	10,477	7,705
その他の支出	848	670	646	629	701
資金支出調整勘定	△ 577	△ 534	△ 583	△ 659	△ 679
次年度繰越支払資金	11,734	11,689	10,585	8,808	9,508
支出の部合計	29,726	29,457	31,833	32,497	32,041

#### (4) 貸借対照表5ヵ年推移

##### 資産の部

(単位：百万円)

科 目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
固定資産	76,285	77,483	78,942	80,757	81,955
有形固定資産	45,605	44,378	43,746	42,624	43,732
土地	6,237	6,237	6,492	6,492	6,492
建物・構築物	32,480	31,158	30,255	28,765	27,393
備品	1,749	1,671	1,517	1,384	1,277
図書	5,137	5,310	5,479	5,670	5,799
その他	1	2	2	1	2
建設仮勘定	0	0	0	314	2,768
その他の固定資産	30,681	33,105	35,197	38,133	38,225
有価証券	4,332	3,432	2,432	3,232	3,832
指定包括信託	1,495	1,483	1,477	1,465	1,498
特定目的引当資産	15,628	18,835	21,890	24,012	23,499
第3号基本金引当資産	8,799	8,903	8,906	8,909	8,913
その他	426	452	492	514	483
流動資産	13,424	14,307	14,287	13,231	12,877
現金・預金	11,734	11,689	10,585	8,808	9,508
有価証券	1,199	2,298	3,299	3,995	2,999
その他	491	319	404	428	371
資産の部合計	89,710	91,790	93,230	93,988	94,833

##### 負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

(単位：百万円)

科 目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
固定負債	4,828	4,631	4,243	4,087	3,997
長期借入金	502	401	301	201	101
長期未払金	2	1	13	2	4
退職給与引当金	4,324	4,228	3,929	3,883	3,891
流動負債	3,139	3,285	3,332	3,325	3,213
前受金	2,440	2,540	2,530	2,432	2,299
その他	700	745	802	893	915
負債の部合計	7,967	7,916	7,575	7,411	7,210
第1号基本金	74,053	74,667	74,653	74,039	76,601
第2号基本金	0	0	1,000	2,000	1,200
第3号基本金	8,799	8,903	8,906	8,909	8,913
第4号基本金	1,084	1,084	1,084	1,084	1,084
基本金の部合計	83,936	84,654	85,643	86,032	87,797
翌年度繰越消費収支差額	△ 2,194	△ 781	12	544	△ 175
消費収支差額の部合計	△ 2,194	△ 781	12	544	△ 175
負債の部・基本金の部および消費収支差額の部合計	89,710	91,790	93,230	93,988	94,833
減価償却累計額	28,529	30,320	30,920	31,371	32,912

#### (5) 貸借対照表関係比率の推移

(単位：%)

財務比率	算式 (上段÷下段×100)	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	全国平均
自己資金構成比率	自己資金(※1)	91.1%	91.4%	91.9%	92.1%	92.4%	87.2%
	総資金(※2)						
流動比率	流動資産	427.7%	435.5%	428.8%	397.9%	400.8%	237.1%
	流動負債						
負債比率	総負債	9.7%	9.4%	8.8%	8.6%	8.2%	14.7%
	自己資金						

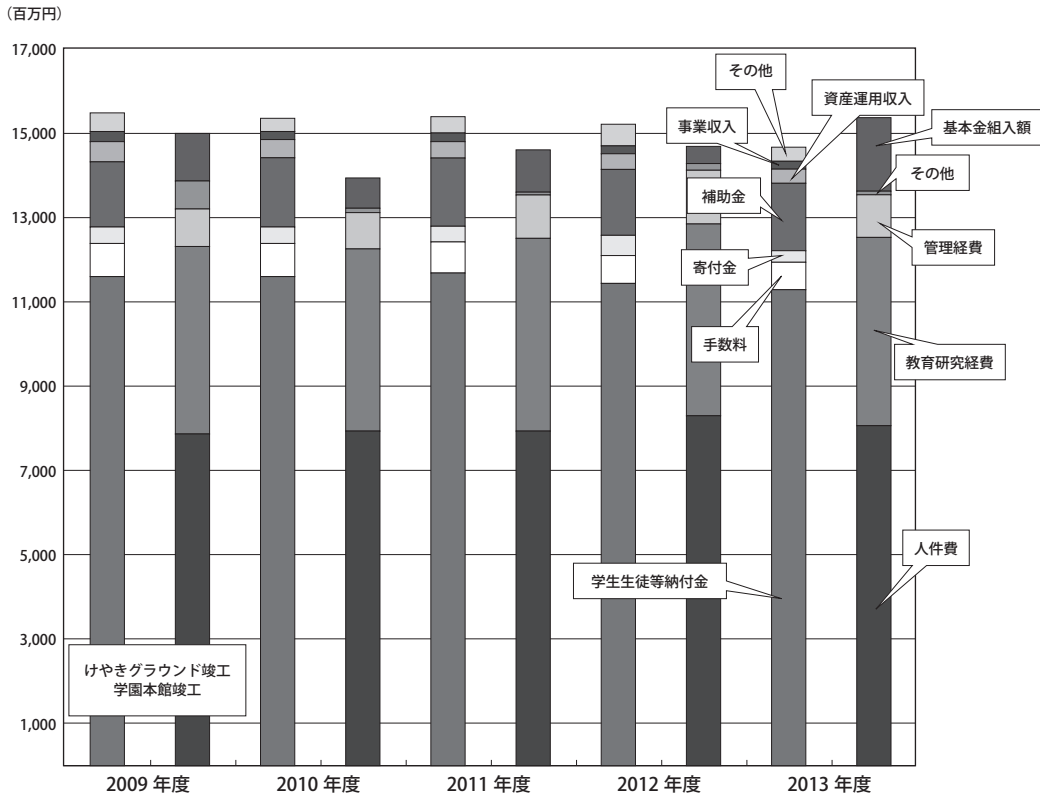
※1 自己資金=基本金+消費収支差額

※2 総資金=負債+基本金+消費収支差額

全国平均：2012年度医歯系法人を除く大学法人の全国平均決算値(出所：日本私立学校振興・共済事業団『平成25年度版今日の私学財政』)

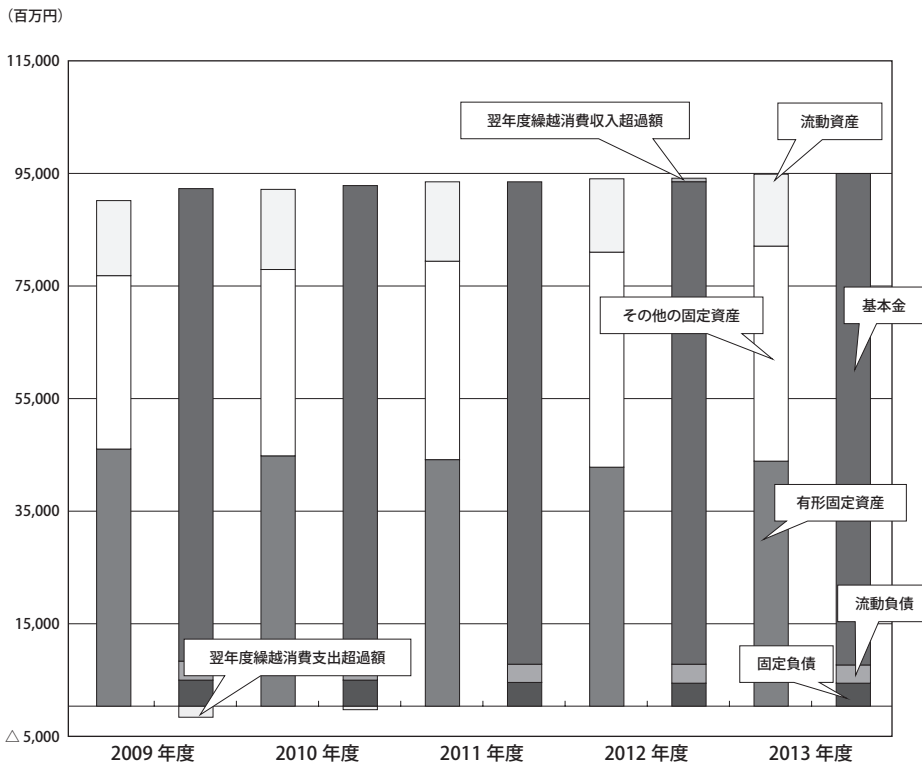
### ■ 3. 消費収支と貸借対照表の推移

#### 消費収支の推移



※棒グラフの左側は帰属収入、右側は消費支出と基本金組入額の合計を表しています。  
左右の高さの差は「当年度消費収支差額」を表しています。

#### 貸借対照表の推移

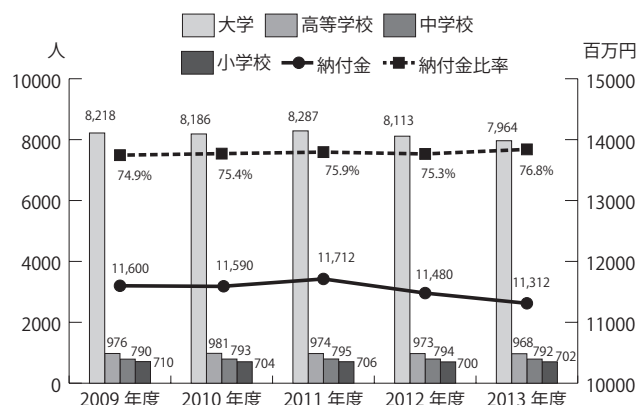


※棒グラフの左側は資産、右側は負債、基本金、消費収支差額を表しています。

## ■ 4. 主な財務比率等の推移

学生生徒等納付金・在学者数・納付金比率の推移（単位：百万円、人）

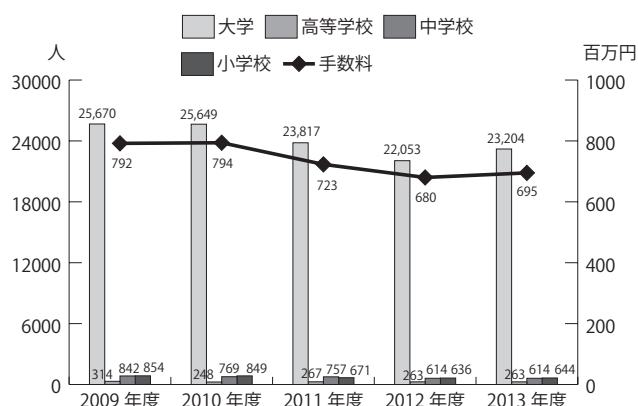
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
納付金	11,600	11,590	11,712	11,480	11,312
大学	8,218	8,186	8,287	8,113	7,964
高等学校	976	981	974	973	968
中学校	790	793	795	794	792
小学校	710	704	706	700	702
納付金比率	74.9%	75.4%	75.9%	75.3%	76.8%



手数料・入学志願者数の推移（単位：百万円、人）

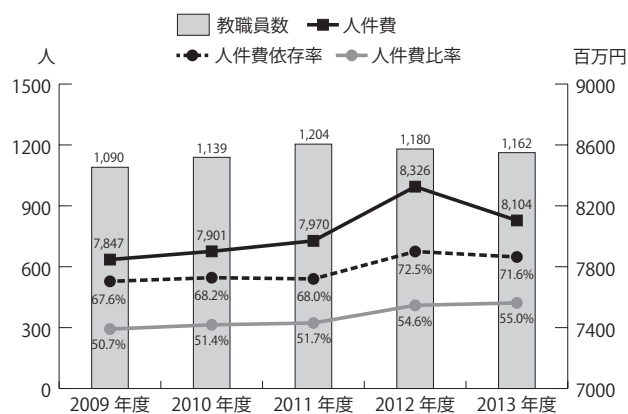
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
手数料	792	794	723	680	695
大学	25,670	25,649	23,817	22,053	23,204
高等学校	314	248	267	263	263
中学校	842	769	757	614	614
小学校	854	849	671	636	644

(注) 入学志願者数は、一般入試における人数を計上しています。



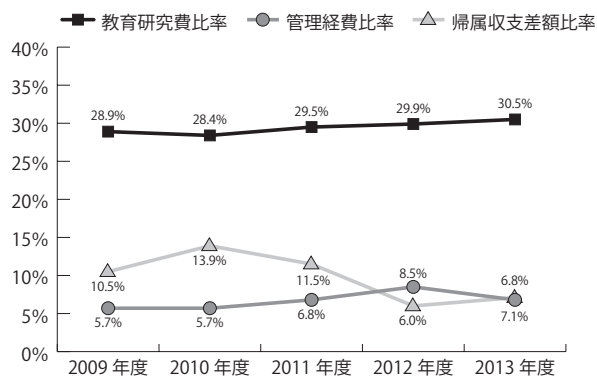
教職員数・人件費・人件費比率・人件費依存率の推移（単位：百万円、人）

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
教職員数	1,090	1,139	1,204	1,180	1,162
人件費	7,847	7,901	7,970	8,326	8,104
人件費比率	50.7%	51.4%	51.7%	54.6%	55.0%
人件費依存率	67.6%	68.2%	68.0%	72.5%	71.6%



教育研究費比率・管理経費比率・帰属収支差額比率の推移

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
教育研究費比率	28.9%	28.4%	29.5%	29.9%	30.5%
管理経費比率	5.7%	5.7%	6.8%	8.5%	6.8%
帰属収支差額比率	10.5%	13.9%	11.5%	6.0%	7.1%



## ■ 5. その他

### (1) 有価証券の状況

(単位：円)

種 類	当年度 (平成 26 年 3 月 31 日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	17,426,796,930	19,531,118,583	2,104,321,653
（うち満期保有目的の債券）	( 16,293,354,300 )	( 16,698,203,600 )	( 404,849,300 )
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	3,441,921,546	3,353,562,120	△ 88,359,426
（うち満期保有目的の債券）	( 2,998,926,000 )	( 2,977,470,000 )	( △ 21,456,000 )
合 計	20,868,718,476	22,884,680,703	2,015,962,227
（うち満期保有目的の債券）	( 19,292,280,300 )	( 19,675,673,600 )	( 383,393,300 )

\*上記の他、時価のない株式 21 株 10,500 円を保有している。

### (2) 借入金の状況

(単位：円)

借入先	資金用途	期 首	増 加	減 少	期 末	利率	借入年月日 返済年月日	平成 26 年度 返済額	担保物件
日本私立学校 振興・共済事業団	支払資金	300,000,000		100,000,000	200,000,000	0.7	平成 21.12.25 平成 27. 6.16	100,000,000	土地
	合計	300,000,000	0	100,000,000	200,000,000				
(財) 東京都私学財団	入学支度金	1,400,000	1,000,000	400,000	2,000,000		平成 24. 3.29 平成 29.3.10	600,000	なし
	合計	1,400,000	1,000,000	400,000	2,000,000				
合 計		301,400,000	1,000,000	100,400,000	202,000,000			100,600,000	



## 15. 監査報告書

### 監 査 報 告 書

2014年5月20日

学校法人 成蹊学園  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人 成蹊学園  
監事 中 本 興 伸 ⑩  
監事 上 原 治 也 ⑩  
監事 小 川 信 明 ⑩

私たち学校法人成蹊学園（以下「当学園」という。）の監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人成蹊学園寄附行為第21条の規定に基づき、当学園の2013年度（2013年4月1日から2014年3月31日まで）における業務及び財産の状況の監査を行った結果、以下のとおり報告します。

#### 1. 監査の方法

- (1) 理事会及び評議員会その他重要会議に出席するほか、理事及び各業務担当責任者から定期的又は必要に応じて業務の報告又は説明を受け、重要な書類の閲覧等を行いました。
- (2) 毎月の資金収支及び消費収支について財務担当者から必要な報告又は説明を受けるとともに、会計監査人（新日本有限責任監査法人）から監査状況の報告又は説明を受け、計算書類、すなわち、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表、並びに財産目録につき必要と思われる監査手続きを実施しました。

#### 2. 監査の結果

- (1) 当学園の業務又は財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及び財産目録は、当学園の収支及び財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以 上